

(案)

第2次春日井市生涯学習推進計画

～令和6年度進捗状況報告書～



令和7年8月

春日井市

目 次

1. 第2次春日井市生涯学習推進計画(改定版)の概要	1
▶ 計画策定の目的	1
▶ 基本理念	1
▶ 基本目標	2
▶ 施策の体系	3
2. 2024年度(令和6年度) 第2次生涯学習推進計画進捗状況	3
▶ 基本目標Ⅰ 学びにつながるきっかけづくり	4
(1) 施策の評価(事業担当課による自己評価)	4
(2) 成果指標と2024年度(令和6年度)実績値	4
(3) 主な取組み状況	5
▶ 基本目標Ⅱ 多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実	9
(1) 施策の評価(事業担当課による自己評価)	9
(2) 成果指標と2024年度(令和6年度)実績値	9
(3) 主な取組み状況	10
▶ 基本目標Ⅲ 多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実	18
(1) 施策の評価(事業担当課による自己評価)	18
(2) 成果指標と2024年度(令和6年度)実績値	18
(3) 主な取組み状況	19
▶ 基本目標Ⅳ 学びを豊かにする環境づくり	25
(1) 施策の評価(事業担当課による自己評価)	25
(2) 成果指標と2024年度(令和6年度)実績値	25
(3) 主な取組み状況	26
資料編 令和6年度 生涯学習推進計画進捗状況(一覧)	29

1. 第2次春日井市生涯学習推進計画(改定版)の概要

▶ 計画策定の目的

生涯学習を通じた暮らしやすいまちを目指し、文化及び生涯スポーツの更なる振興、これまで生涯学習に取り組んでこなかった層に対する働きかけの強化、計画の進行管理及び着実な実行を推進するための数値目標の設定を盛り込み、本市における生涯学習を推進するための指針となる計画として、2018年度(平成30年度)から2027年度(令和9年度)までの10年間を計画期間とした「第2次春日井市生涯学習推進計画」を策定し、誰もが生涯にわたり学ぶことができ、その成果を生かして地域の中でいきいきと活躍できる社会を目指して、生涯学習施策に取り組んできました。

2022年度(令和4年度)が中間年度となることから、社会情勢や国・県の動向を踏まえた上で、市民アンケートの結果やこれまでの取り組みの進捗状況から本市における課題を整理し、2023年度(令和5年度)から2027年度(令和9年度)までの後期期間に向けて、「第2次春日井市生涯学習推進計画(改定版)」として計画の見直しを行いました。社会情勢が大きく変化する中、人と人とがつながりを持ち、学んだことを生かして様々な地域課題に対し積極的に取り組むため、様々な取り組みを推進していきます。

▶ 基本理念

市民一人ひとりが心豊かな生活を送るためには、学びを通じて一人ひとりの潜在能力を最大限伸ばすとともに、学習活動を通じた地域活動の推進、現代的・社会的な課題に対応した学習などの推進を図っていく必要があります。これを踏まえ、本計画の基本理念を次のとおりとします。

『一人ひとりの学びが地域の絆と

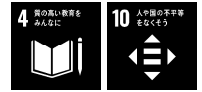
未来を創り出すまちづくり』

▶ 基本目標

基本理念である「一人ひとりの学びが地域の絆と未来を創り出すまちづくり」を実現するため、様々な課題に対応した4つの基本目標を次のとおり定め、総合的な取組みを推進します。

I

学びにつながるきっかけづくり



市民の学びに関する興味や関心が高まるよう、意識啓発に努めるとともに、学習活動の実践へとつながるよう、様々な機会や手法を活用して生涯学習の魅力や活動情報を発信し、学習のきっかけにつなげます。

また、誰もが気軽に学ぶことができる学習機会の提供を行います。

II

多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実



世代で異なるニーズに応じた多様な分野の学習機会を提供するとともに、市民が身近な場所で生涯スポーツや文化芸術に親しむことができる機会を提供します。また、自主的・主体的な学習活動への支援等、時代のニーズに即した学習機会の充実を図ります。

III

学んだ成果を生かしたまちづくり



市民一人ひとりが社会的課題や地域課題に関心を持ち、課題解決に取り組むことができるような学習の充実を図ります。また、市民が学習を通じて身につけた知識や技能、経験等の成果をまちづくりに生かすことができるよう、学習成果を発表する機会の確保を図るとともに、その情報を広く周知します。

また、学習成果を地域で広く生かすことができる仕組みの構築に取り組めます。

IV

学びを豊かにする環境づくり



市民の身近な学習や活動の場である公民館やふれあいセンター等をハード・ソフトの両面において市民にとって利用しやすい学習施設となるよう整備、充実を図ります。また、高等教育機関や地域の事業者等との連携を強化し、学習環境の充実を図ります。

▶ 施策の体系

基本理念	基本目標	基本的施策	取組みの方向
一人ひとりの学びが地域の絆と未来を創り出すまちづくり	基本目標Ⅰ 学びにつながる きっかけづくり	▶ (1) 生涯学習に関する情報提供の充実	▶ 1 多様な媒体を活用した情報の提供 2 生涯学習の魅力や活動情報の発信 新規 重点項目
		▶ (2) 学習活動の多様なきっかけの提供	▶ 3 興味関心から実践へとつながる講座等の実施 新規 重点項目 4 活動に関する相談窓口機能の充実 5 市民ニーズの的確な把握
		▶ (3) 誰もが参加しやすい学習機会の提供	▶ 6 生活様式に応じた多様な学習スタイルの提供 新規 重点項目 7 障がい者、外国人等の生涯学習活動への支援 新規 重点項目
	基本目標Ⅱ 多様なニーズに応じた 学ぶ機会の充実	▶ (1) ライフステージに応じた学習機会の充実	▶ 8 乳幼児期における学習機会の充実 9 青少年期における学習機会の充実 10 成人期における学習機会の充実 11 高齢期における学習機会の充実 12 リカレント教育の推進 新規
		▶ (2) 生涯スポーツの推進	▶ 13 コミュニティスポーツの推進 14 スポーツに関する学習機会の充実
		▶ (3) 文化芸術の振興	▶ 15 文化芸術の鑑賞機会や学習機会の提供 16 市民による文化芸術活動の促進 17 特色ある文化の推進 18 郷土文化の継承及び文化財保護意識の啓発
		▶ (4) 自主的・主体的な学習活動への支援	▶ 19 図書館、図書室の充実 20 生涯学習活動団体への支援
	基本目標Ⅲ 学んだ成果を生かした まちづくり	▶ (1) 社会的課題に対応した学習機会の充実	▶ 21 健康に関する学習機会の充実 22 環境に関する学習機会の充実 23 防災、防犯に関する学習機会の充実 24 情報化・国際化社会に関する学習機会の充実 25 男女共同参画に関する学習機会の充実
		▶ (2) 地域の担い手となる人材の発掘及び育成	▶ 26 指導者となりうる人材の育成 27 ボランティアの育成
		▶ (3) 学習成果を生かしたまちづくりの推進	▶ 28 学びの成果を発表する機会の提供 29 市民自らが企画した講座の開催 30 住民主体による地域課題の解決に向けた学習の支援
	基本目標Ⅳ 学びを豊かにする 環境づくり	▶ (1) 身近な生涯学習関連施設の充実	▶ 31 市民が利用しやすい、利用したくなる施設運営 拡充 重点項目 32 施設の有効活用 33 施設の適切な維持管理
		▶ (2) 関係機関とのネットワークの構築	▶ 34 地域の大学や事業者との連携 35 近隣自治体との連携

2. 2024年度(令和6年度) 第2次生涯学習推進計画進捗状況

▶ 基本目標Ⅰ 学びにつながるきっかけづくり

(1) 施策の評価(事業担当課による自己評価)

基本的施策	報告 事業数	自己評価				
		◎	○	△	×	評価なし
(1) 生涯学習に関する情報提供の充実	14	2	11	1	—	—
(2) 学習活動の多様なきっかけの提供	6	—	6	—	—	—
(3) 誰もが参加しやすい学習機会の提供	16	4	10	1	1	—

※自己評価基準 ◎ : 想定以上の成果が得られたところがあった。前年度実績を上回る成果があった。
 ○ : 全般的に、概ね想定した成果が得られた。前年度実績と同程度の成果があった。
 △ : 想定した目標に到達できなかったところがあった。前年度実績を下回る成果しか得られなかった。
 × : 全般的に想定した目標に到達できなかった。または、前年と比較し大幅に下回る成果しか得られなかった。

(2) 成果指標と2024年度(令和6年度)実績値 *は後期計画から新たに指標とした項目

基本的 施策	指 標	実績値				前年度 比較	目標値
		2021 年度 (R3 年度)	2022 年度 (R4 年度)	2023 年度 (R5 年度)	2024 年度 (R6 年度)		2026 年度 (R8 年度)
(1)	生涯学習情報サイト「まなびや選科」の認知度	8.3%	—	—	—	-	30.0%
	今後、生涯学習に取り組みたいと思う人の割合*	55.5%	—	—	—	-	65.5%
	市の生涯学習に関する取組みが重要であると思う人の割合*	22.0%	—	—	—	-	25.0%
(2)	生涯学習に取り組んでいる人の割合	55.3%	—	—	—	-	65.0%
(3)	公民館等でのオンライン講座の実施数*	5 講座	8 講座	11 講座	59 講座	↑	15 講座
	障がい者向けの講座の実施数*	12 講座	14 講座	16 講座	22 講座	↑	16 講座

(3) 主な取組み状況

※取組みの一覧は、資料30～36ページに掲載

基本的施策(1) 生涯学習に関する情報提供の充実

【取組み1】多様な媒体を活用した情報の提供

主な内容	事業名	事業概要	令和6年度実績	担当課
●広報春日井、民間の生活情報誌などの紙媒体を活用した情報の提供	広報春日井	生涯学習に関する情報を始め、市の魅力、市政情報に関するきめ細かな情報を発信するため、広報誌を発行する。	発行回数：年12回 発行日：毎月1日を基準日に、前月末頃に発行 仕様：A4 全面カラー 発行部数：96,000部 主な内容：市のお知らせや催し、講座情報、市の魅力情報 ほか	広報広聴課
	民間の地域情報誌の活用	民間の地域情報誌を活用し、講座やイベント情報、生涯学習に関する情報を発信する。	令和6年4月号： 生涯学習、市民活動、スポーツに取り組む人を取り上げ紹介 ※市の方針変更により、民間地域情報誌の活用よりも市広報誌の活用に重点をおくこととなった。	いきがい推進課
●生涯学習情報サイト「まなびや選科」、市ホームページ、SNS等、インターネットを活用した情報の提供	生涯学習情報サイト「まなびや選科」の運営	生涯学習情報サイト「まなびや選科」で講師や生涯学習活動団体の情報を提供する。	アクセス件数：72,210件（前年比31,681件増） 団体登録件数：123団体（前年比1団体増） 講師登録件数：347人（前年比24人増、新規登録43人）	いきがい推進課
	SNSによる情報発信	市公式LINEでさまざまな情報を発信する。	市公式LINE友だち登録者数 27,675人 「文化・生涯学習」セグメント登録者数 4,886人（前年比763人増） 「文化・生涯学習」分野の配信件数 79件	広報広聴課
●駅や施設等に設置されているデジタルサイネージ等を活用した情報の提供	春日井駅デジタルサイネージでの情報発信	JR春日井駅に設置されているデジタルサイネージでさまざまな情報を発信する。	年間25回スケジュールを更新（原則として月2回） ＜放映例＞ ・道風記念館企画展「小野道風記念館所蔵 現代の書優品展」PR ・道風記念館企画展「おののとうふう」～中国の書と和様の書～PR ・道風記念館特別展「岡寺版集帖」PR	広報広聴課

【取組み2】 生涯学習の魅力や活動情報の発信

主な内容	事業名	事業概要	令和6年度実績	担当課
●活動する人の声や画像を活用した魅力発信	活動する人の声が伝わる魅力的な発信	講座受講者や活動団体の様子が伝わるよう様々な手法で生涯学習の魅力を発信する。	講座受講者募集の際に、ホームページに前年度受講者の感想や講座風景写真を掲載し、講座の内容を分かりやすく伝わるよう工夫した。	いきがい推進課
●市内の生涯学習活動団体やサークル等の情報発信	生涯学習の魅力や活動団体の紹介	生涯学習の楽しさや魅力を伝えられるよう様々な媒体等を活用して情報を発信する。	・各施設で活動する生涯学習活動団体の写真付きPRポスターを館内で掲示した。 ・文化系団体が制作した作品を館内に展示し、活動成果を紹介した。 ・生涯学習団体の協力を得て開催する講座を企画し、活動内容の魅力を団体のメンバー自らがアピールする場を提供した。 ・団体紹介コーナーを設け、認定団体一覧や、利用団体の会員募集案内等の情報を発信した。	いきがい推進課

基本的施策(2) 学習活動の多様なきっかけの提供

【取組み3】 興味関心から実践へとつながる講座等の実施

主な内容	事業名	事業概要	令和6年度実績	担当課
●習得状況に応じてステップアップできる講座の実施	ステップアップ講座	継続して学び続けられるよう、習熟度に合わせてステップアップした講座を実施する。	(1)公民館 実施数：8講座(31回) 実施講座：紙バンドで頭の体操(中級)、楽しいウクレレ講座(中級)ほか 延受講者数：335人 (2)ふれあいセンター 実施数：3講座(18回) 実施講座：シニアのための持ち込みスマートフォン講座(入門編・応用編)ほか 延受講者数：175人	公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター

【取組み4】 活動に関する相談窓口機能の充実

主な内容	事業名	事業概要	令和6年度実績	担当課
●ボランティアや市民活動に関する相談事業の実施	ボランティア相談及び市民活動・NPO相談	ボランティアや市民活動を支援するため、ボランティアの紹介や市民活動に関する相談事業を実施する。	(1)ボランティア相談 火曜日～金曜日 午前9時～午後5時 相談件数 2,073件（前年 1,705件・368件増） (2)市民活動・NPO相談 火曜日～日曜日 午前9時～午後5時 （相談内容により予約制） 相談件数 57件（前年112件・55件減）	市民活動支援センター

【取組み5】 市民ニーズの的確な把握

主な内容	事業名	事業概要	令和6年度実績	担当課
●アンケートを活用した市民ニーズの把握	アンケートを活用した市民ニーズの把握	講座受講者へのアンケート調査を行うとともに、アンケートシステム等を活用して市民ニーズの把握を行う。	各講座において、実施後に受講者に対し、アンケート調査を行った。また、アンケート調査の結果を講師に提供し、改善すべき点を共有することで講座内容の改善を図った。	いきがい推進課

基本的施策(3) 誰もが参加しやすい学習機会の提供

【取組み6】 生活様式に応じた多様な学習スタイルの提供

主な内容	事業名	事業概要	令和6年度実績	担当課
●オンライン講座や動画配信によるデジタルコンテンツの充実	オンライン講座、配信講座	大学連携講座等で、会場で受講する対面式とZOOMによるオンラインを併用した講座を実施する。また、時間や場所を問わず自分の好きな時に受講できる配信講座を実施する。	対面・オンライン受講併用講座（いきいきアカデミー） 実施数：54講座（54回） 延受講者数：5,922人（うちオンライン630人）	いきがい推進課、公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター
		「市民健康づくり講座」をオンライン配信講座で実施する。	実施数：5講座（すべてオンライン） 講座内容：頑張らなくてOK！幸せな自分を実現する快適カラダづくり、だしソムリエに学ぶ！減塩しながらでもおいしく食べるコツ、うつ病予防の第1歩！ストレスへの理解と改善チャレンジ ほか 延受講者数：510人	健康増進課

【取組み7】 障がい者、外国人等の生涯学習活動への支援

主な内容	事業名	事業概要	令和6年度実績	担当課
●障がい者向け講座等の実施	障がい者向け講座	障がいの特性に配慮した講座を開催する。	実施数：18講座 実施講座：元気パワーアップ運動教室、のんびりゆったり体操教室、視覚障がい者パソコン講座、音楽療法、こけ玉づくり教室、はじめてのフラダンス教室 ほか 延受講者数：1,437人（内、障がい者302人） ※障がいの有無に関わらず募集	社会福祉協議会
		障がいの有無に関わらず生涯学習活動に参加できるような機会を提供する	実施数：2講座（2回） 実施講座：わくわく親子カップケーキ作り、もみじ茶会 延受講者数：63人	公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター
	障がい者の生涯学習支援		障がい者を主体としたサークル活動：12回、延参加者数122人 文化・スポーツ講座：2講座、6回、延受講者数52人 障がい者の生涯学習支援連携協議会：会議2回	いきがい推進課
●障がい者図書サービスの充実	障がい者図書サービス	障がい者に学ぶ機会を提供するため、録音図書や点字図書の製作、ボランティアによる対面読書、図書無料郵送貸出を行う。	(1)デイジー図書製作数：39種 (2)点字データ製作数：69種 (3)対面読書：0回 (4)音訳技術講習会（初級編） 1回（12日間）受講者数：3人 (5)音訳デジタル録音技術講習会 1回（2日間）受講者数：39人	図書館
●外国人向け日本語講座等の実施	外国人向け学習支援	日本語に関する知識や能力を高める日本語教室を開催する。	(1)日本語教室（かすがいふれあい教室） 生活に必要な知識を身に付ける学習機会及び日本に対する理解を深める日本の文化体験講座も合わせて行った。 実施回数：108回（3クラス×36回） 延参加者数：2,108人 (2)子どもの日本語教室 実施回数：39回 延参加者数：547人	多様性社会推進課

▶ 基本目標Ⅱ 多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

(1) 施策の評価(事業担当課による自己評価)

基本的施策	報告 事業数	自己評価				
		◎	○	△	×	評価なし
(1) ライフステージに応じた学習機会の充実	36	2	34	－	－	－
(2) 生涯スポーツの推進	6	－	5	1	－	－
(3) 文化芸術の振興	15	4	11	－	－	－
(4) 自主的・主体的な学習活動への支援	6	－	6	－	－	－

※自己評価基準 ◎ : 想定以上の成果が得られたところがあった。前年度実績を上回る成果があった。
 ○ : 全般的に、概ね想定した成果が得られた。前年度実績と同程度の成果があった。
 △ : 想定した目標に到達できなかったところがあった。前年度実績を下回る成果しか得られなかった。
 × : 全般的に想定した目標に到達できなかった。または、前年と比較し大幅に下回る成果しか得られなかった。

(2) 成果指標と2024年度(令和6年度)実績値 *は後期計画から新たに指標とした項目

基本的 施策	指 標		実績値				前年度 比較	目標値 2026年度 (R8年度)
			2021年度 (R3年度)	2022年度 (R4年度)	2023年度 (R5年度)	2024年度 (R6年度)		
(1)	乳幼児や小中学生、親子を対象とした講座の延受講者数		4,496人	4,980人	5,283人	4,937人	↓	6,100人
	小中学校におけるふれあい教育セミナー	申請団体数	45団体	47団体	50団体	47団体	↓	71団体
		講座実施回数*	127回	172回	214回	213回	↓	213回
		参加者数*	11,652人	11,594人	13,146人	11,593人	↓	18,100人
	かすがいいいきいアカデミーの延受講者数		2,380人	5,292人	6,426人	5,922人	↓	6,800人
(2)	スポーツ教室の参加人数		37,660人	69,732人	83,550人	85,435人	↑	73,000人
(3)	文化芸術活動をしている人の割合		12.3%	—	—	—	—	14.5%
	かすがい市民文化財団自主事業の満足度*		97.2%	97.7%	98.1%	98.3%	↑	98.5%
(4)	生涯学習活動団体の会員数		12,047人	11,566人	9,745人	10,410人	↑	12,000人

(3)主な取組み状況

※取組みの一覧は、資料37～51ページに掲載

基本的施策(1) ライフステージに応じた学習機会の充実

【取組み8】 乳幼児期における学習機会の充実

主な内容	事業名	事業概要	令和6年度実績	担当課
●親子で楽しめる学習プログラムの充実	乳幼児を対象とした講座	運動、手遊び、読み聞かせなど親子で楽しむプログラムや親子のふれあいを提供する講座を実施する。	(1)公民館 実施数：12講座(41回) 実施講座：親子でふれあい遊び～楽しくピアノでリトミック～、子ども人形劇 ほか 延受講者数：1,503人 (2)ふれあいセンター 実施数：9講座(35回) 実施講座：おやこでいっしょにABC!、夏休み子ども劇場 ほか 延受講者数：683人 (3)青年の家 実施数：1講座4回 実施講座：楽しく歌って踊って音楽と仲良くなろう!～リトミックで心とからだを豊かに育む～ 延受講者数：94人	公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター
	子育てサポートキャラバン隊	児童館、子育て支援拠点等のない地域で事業を行うことで地域の子育て支援機能の充実を図り、子どもの健やかな育ちを支援する。	実施場所：5施設 延べ参加人数：3,641人 (保護者：1,747人、こども：1,894人)	子育て推進課
●子育てに関する講座や育児相談の実施	食育講座(モグモグ健康教室、カミカミ健康教室、パクパク健康教室)	乳幼児期の食育について、月齢に分けて講座を実施する。	(1)モグモグごっくん教室 対象：4～6か月児の第1子の保護者 参加者数：628人 (2)カミカミ歯っぴー教室 対象：8～11か月児の第1子の保護者 参加者数：284人 内容：管理栄養士の講話 離乳食の進め方、保健師の講話 生活リズム・成長発達・事故予防、歯科衛生士の講話 口腔機能の発達と離乳食の進め方、食生活改善推進員が調理した離乳食サンプル紹介 会場：総合保健医療センター	こども家庭支援課

【取組み9】 青少年期における学習機会の充実

主な内容	事業名	事業概要	令和6年度実績	担当課
●親子体験活動等の実施	親子講座	親子を対象に、料理、工作、体操を始めとした体験型の講座などを実施し、子どもの創造力を引き出す。	(1)公民館 実施数：39講座（56回） 実施講座：親子で学ぶお片付け教室、家族で楽しくリトミック、親子でトライ！ダンスの基本ステップ入門 ほか 延受講者数：1,206人 (2)ふれあいセンター 実施数：15講座（36回） 実施講座：親子で体験！楽しい手打ちそば作り、親子講座「親子スイーツクッキング」 ほか 延受講者数：698人	公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター
●小中学生を対象とした講座、イベントの実施	子ども司書養成講座、10代の未来さがし講座	講座を開催することで、図書館への関心を高め、読書活動の意義を見出すことを促す。	実施数：2講座（3回） 実施講座：子ども司書養成講座（現役の司書から図書館業務を学ぶ） 10代の未来さがし講座（大学教員から人生の助けになることを学ぶ） 延受講者数：31人	図書館
	里山体験（田んぼと森の学校）	里山的環境を利用した米作り体験をすることで自然と人との関わりについて考え、勤労体験と収穫の喜びを味わい、生きるために重要な「食」について考える。	実施数：9回 延受講者数：270人	野外教育センター

【取組み10】 成人期における学習機会の充実

主な内容	事業名	事業概要	令和6年度実績	担当課
●家庭教育の重要性を学ぶ会の充実	ふれあい教育セミナー	家庭教育の大切さ等を学習する「ふれあい教育セミナー」に対して補助することで、家庭教育力と地域教育力の向上を図る。	実施団体数：47団体（認定こども園1園、私立保育園3園、幼稚園8園、小学校30校、中学校5校） 開催回数：213回（うち託児付き35回） 事業内容：子どもに身に着けてほしい最強の武器～今日から使える子育てスキル～、お片付け基本講座、親子で学ぶ防災 ほか 延参加者数 11,593人（託児人数延べ152人）	いきがい推進課

【取組み11】 高齢期における学習機会の充実

主な内容	事業名	事業概要	令和6年度実績	担当課
●健康づくり、趣味などに関する学習の場の提供	かすがいいいきアカデミー	誰もがいきがいを持ち、充実した生活を送ることができるように、幅広い世代に学習の場を提供する。	実施数：4コース各13回、合同講座2回 内容：生活科学、歴史、文学、芸術文化の4コースを実施 延受講者数：5,922人	いきがい推進課
●オンラインスキル向上のための学習機会の提供	シニア向けICT講座	デジタル格差の解消に向け、シニア向けにスマートフォン講座等を実施する。	(1)公民館 実施数：5講座（16回） 実施講座：シニアのための持ち込みパソコン教室、スマートフォン講座（スマホ決済編）ほか 延受講者数：166人 (2)ふれあいセンター 実施数：4講座（16回） 実施講座：シニアのためのスマホ活用講座、持ち込みパソコン講座ほか 延受講者数：166人 (3)青年の家 実施数：1講座（2回） 実施講座：シニアのための初めての生成AI講座 延受講者数：20人	公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター

【取組み12】 リカレント教育の推進

主な内容	事業名	事業概要	令和6年度実績	担当課
●資格取得を目指した講座の実施や情報の発信	資格取得を目指した講	自己実現や職業能力の向上等に必要な知識、技能、教養を身につける学び直しの機会を提供する。	実施数：1講座（12回） 実施講座：簿記3級をめざして 延受講者数：300人	多様性社会推進課
	学び直しのための講座等の情報発信	自己実現や職業能力の向上等に必要な知識、技能、教養を身につける学び直しの機会についての情報を発信します。	リカレント教育に関するホームページを作成し、新たな知識やスキルを身に付けられるよう、近隣大学、放送大学の履修情報やオンラインで学べる情報サイトの紹介を行った。	いきがい推進課

基本的施策(2) 生涯スポーツの推進

【取組み13】 コミュニティスポーツの推進

主な内容	事業名	事業概要	令和6年度実績	担当課
●スポーツ推進委員の育成	スポーツ推進委員	地域のスポーツ大会、スポーツ教室等の実施に関する連絡調整及び指導・助言や健康・体力づくりの実技指導を行うスポーツ推進委員の充実を図る。	(1)春日井市スポーツ推進委員実技研修会の開催(2回) (2)その他(研修会等への参加) 愛知県スポーツ推進委員研修会 4市スポーツ推進委員合同研修会 (3)スポーツ推進委員の派遣 派遣件数:20件 派遣人数:84人	文化スポーツ振興課
●多様な世代が参加できる運動機会の提供	ラジオ体操会	子どもから高齢者まで、あらゆる世代の交流や健康づくりを推進するため、毎年8月の第1日曜日を「ラジオ体操の日」とし、「みんなでラジオ体操会」を実施することで、ラジオ体操の普及を図る。	(1)みんなでラジオ体操会 期 日:8月4日(日) 会 場:落合公園 参加人数:650人 (2)ラジオ体操!チャレンジ宣言 期 日:7月20日(土)~9月1日(日) 団 体 数:79団体 延参加人数:6,380人	文化スポーツ振興課

【取組み14】 スポーツに関する学習機会の充実

主な内容	事業名	事業概要	令和6年度実績	担当課
●スポーツイベントの実施	スポーツイベント	マラソン大会、スポーツフェスティバルなどを実施し、多くの市民が生涯を通じてスポーツに親しむことができるよう、各世代のニーズに合わせたスポーツへの参加機会の充実を図る。	(1)新春春日井マラソン大会 期 日:1月12日(日) 参加人数:5,180人 (2)かすがい!スポーツフェスティバル 期 日:10月14日(月・祝) 参加人数:6,565人 (3)2024!レクスポ&ウォーク祭 期 日:6月9日(日) 参加人数:603人 (4)市民体育大会 期 日:4月1日(月)~3月31日(月) 参加人数:7,264人	文化スポーツ振興課

●春日井市スポーツふれあい財団との連携強化	春日井市スポーツ・ふれあい財団との連携	生涯スポーツ教室や出張スポーツ講座を始め、さまざまなスポーツ教室（講座）やスポーツイベントを行う、春日井市スポーツ・ふれあい財団と連携し、スポーツに親しむ機会の充実を図る。	(1)スポーツ教室（講座）の開催 実施内容：生涯スポーツ教室事業、運動指導事業、地域ふれあい運動教室、出張スポーツ講座及びトレーニング教室 延 回 数： 3,770回 延参加人数： 85,435人 (2)スポーツイベントの実施 実施内容：親子で楽しむ！スポーツ教室、Fリーグ春日井大会、ライフセービング体験&いのちの教室、萩原智子杯水泳競技大会in春日井兼サンフロッグ春日井水泳競技大会、飛び込みをマスターしよう！、親子で野球教室、スポレ春日井記録会、ラグビーフェスティバルDAY2 ほか 延参加人数：12,936人	文化スポーツ振興課
-----------------------	---------------------	--	--	-----------

基本的施策(3) 文化芸術の振興

【取組み15】 文化芸術の鑑賞機会や学習機会の提供

主な内容	事業名	事業概要	令和6年度実績	担当課
●地域の身近な場所での鑑賞・交流機会の提供	かすがいどこでもアート・ドア	身近な場所で文化芸術が鑑賞でき、交流できる機会を提供するため、各ジャンルのアーティストを市内の保育園や公民館等に派遣する。また、小中学校の授業型アウトリーチ「スクール・アート・ドア」を実施し、子どもの頃から芸術に親しむ機会を提供する。	派遣アーティスト数：25人 実施回数：58回 延参加者数：6,878人	文化スポーツ振興課
●様々な文化を体験できる機会の充実	かすがい文化フェスティバル	次代を担う子どもたちが茶道、華道、日本舞踊等の伝統文化を始めとしたさまざまな文化に親しみ、身近に体験できる講座を開催する。	(1)夏休みワークショップ 実 施 数：13講座 延参加者数：377人 (2)夕涼みシネマ 延参加者数：188人	文化スポーツ振興課
●芸術家によるアウトリーチ活動	わ〜く書っぶ	書に触れる機会を提供するとともに、それぞれの地域の身近な場所において書に親しんでいただくため、書家を地域の集会所や公民館に派遣する。	実施プログラム：5講座 実施回数：10回	文化スポーツ振興課

【取組み16】 市民による文化芸術活動の促進

主な内容	事業名	事業概要	令和6年度実績	担当課
●文化芸術イベントの実施	文化芸術イベント	かすがい市民文化財団と連携し、文化芸術の鑑賞機会の充実を図る。	(1)美術系事業 小松宏誠展「光と影のモバイル 空と歌」、金子みすゞ展「100年の時を 越えて 展覧会 金子みすゞの詩」、新進作家支援事業 安藤シオン「カガヤク物語」 (2)舞台系事業 劇団四季ファミリーミュージカル「エルコスの祈り」、東京楽所 雅楽公演、松竹大歌舞伎、キーウ・クラシック・バレエ「くるみ割り人形－全幕－」ほか	文化スポーツ振興課

【取組み17】 特色ある文化の推進

主な内容	事業名	事業概要	令和6年度実績	担当課
●「書のまち」、「自分史」の普及、振興	道風展	春日井市で生まれたと伝えられ、三跡の筆頭として日本書道史上に大きな足跡を残した小野道風の偉業をたたえる、全国公募の書の展覧会を開催する。	春日井展：10月27日（日）～11月4日（月・祝） 表彰式：10月27日（日） VR展：10月27日（日）～12月1日（日） 学生半紙の部巡回展：11月5日（火）～12月1日（日） JR春日井駅自由通路展示コーナー 一般部巡回展：11月26日から、西部ふれあいセンター、グルッポふじとう、市庁舎 募集部門：一般部 第1部漢字、第2部かな、第3部近代詩文、第4部少字数、第5部小品、学生部 半紙、条幅 応募点数：一般部325点、学生部5,377点、計5,702点	文化スポーツ振興課（かすがい市民文化財団）
	自分史関連事業	自分史活動により、個人を敬い、心のつながりを認識することを目指す。	ネット上での発信及び双方向コミュニケーションを目的として、ポッドキャスト番組を開始。公開収録も行った。また昨年度に引き続き、自分自身の悩み等を複数人でシェアすることで生きづらさや悩みを解きほぐす機会を設けた。 (1)ポッドキャスト番組「そしておしゃべりは続く」 出演：尹雄大（もの書き、インタビュアー）ほか フォロワー数：552人 再生数：15,214回 (2)ポッドキャスト番組「そしておしゃべりは続く」公開収録イベント 出演：尹雄大（もの書き、インタビュアー）ほか 参加者数：26人 (3)「モヤモヤを話す、聞く」講師：雄大（もの書き、インタビュアー）ほか 3日間開催、計51人参加	文化スポーツ振興課（かすがい市民文化財団）

【取組み18】 郷土文化の継承及び文化財保護意識の啓発

主な内容	事業名	事業概要	令和6年度実績	担当課
●文化財や伝統芸能等の保存・継承・活用	郷土芸能等のデジタルアーカイブ化	市の文化財について認知度を高めるため、VR（バーチャル・リアリティ）による見学ツアーやPR動画や360°動画の作成等、デジタルデータを活用した文化財情報を積極的に発信する。	民俗展示室や内々神社、下原古窯など市内の遺跡等14件について、VR（バーチャル・リアリティ）見学ツアーを市ホームページで公開した。	文化財課
●春日井の歴史、文化財に関するイベント、講座等の実施	内津文化財祭、ハニワまつり、古代史講座	春日井の歴史、文化財に関するイベント、講座を実施し、市の歴史や文化財の周知啓発を図る。	(1)内津文化財祭 開催日：5月11日（土） 会 場：内々神社 参加者数：500人 (2)ハニワまつり 開催日：10月26日（土） 会 場：二子山公園 参加者数：5,500人 (3)講座 親子体験教室 6回 延受講者数：136人 特別講座 3回 延受講者数：183人 古代史講座 3回 延受講者数：195人	文化財課

基本的施策(4) 自主的・主体的な学習活動への支援

【取組み19】 図書館、図書室の充実

主な内容	事業名	事業概要	令和6年度実績	担当課
●図書資料、視聴覚資料の充実	図書資料、視聴覚資料	利用者のニーズに応じた図書資料の充実に努めるとともに、地域性や利用者ニーズ等を配慮した排架に努め、利用しやすい環境を整える。	蔵書数 春日井市図書館 587,558冊 高蔵寺まなびと交流センター図書館 79,990冊 味美ふれあいセンター始め9図書室 100,007冊 合計 767,555冊 (8,635冊減)	図書館

主な内容	事業名	事業概要	令和6年度実績	担当課
●中高生を対象としたティーンズサービスの充実	ティーンズサービス	中学生・高校生（10代）の利用促進を図るため、T C（ティーンズコーナー）通信を発行するとともに、中学生・高校生の意見を取り入れながらサービスの充実を図る。	(1) T C（ティーンズコーナー）通信発行 年4回 (2) T C蔵書の拡充 令和5年度末6,283冊 → 令和6年度末6,927冊 (3) 10代の未来さがし講座 科学大好きなみなさんへ～光る生きもの博士が誕生するまで！～ 日 時：12月8日（日） 場 所：文化フォーラム春日井 受講者数：児童・生徒21名	図書館

【取組み20】 生涯学習活動団体への支援

主な内容	事業名	事業概要	令和6年度実績	担当課
●施設の優先予約や使用料減免等による生涯学習活動団体の活動への支援	施設利用に係る生涯学習活動団体への支援	生涯学習活動団体が活動しやすくなるよう支援する。	(1) 3か月前優先予約 生涯学習活動団体が活動しやすくなるよう、一般の予約より優先して、3月前から予約を受け付けた。 (2) 施設使用料の2分の1を減免する。	いきがい推進課
	文化スポーツイベント補助金	文化の振興、スポーツの振興及び競技力の向上を図るため、個人及び文化・スポーツ活動団体が、全国的規模で開催する公演の実施や全国的規模のスポーツ大会に出場した際等に、補助金を交付する。	(1) スポーツ関係 国際大会出場補助：個人 21件、団体 0件 全国大会出場補助：個人 137件、団体 15件 全国大会開催補助 1件（第34回全国高等学校剣道選抜大会）	文化スポーツ振興課

▶ 基本目標Ⅲ 学んだ成果を生かしたまちづくり

(1) 施策の評価(事業担当課による自己評価)

基本的施策	報告 事業数	自己評価				
		◎	○	△	×	評価なし
(1) 社会的課題に対応した学習機会の充実	30	3	25	1	—	1
(2) 地域の担い手となる人材の発掘及び育成	12	1	9	2	—	—
(3) 学習成果を生かしたまちづくりの推進	11	—	11	—	—	—

※自己評価基準 ◎ : 想定以上の成果が得られたところがあった。前年度実績を上回る成果があった。
 ○ : 全般的に、概ね想定した成果が得られた。前年度実績と同程度の成果があった。
 △ : 想定した目標に到達できなかったところがあった。前年度実績を下回る成果しか得られなかった。
 × : 全般的に想定した目標に到達できなかった。または、前年と比較し大幅に下回る成果しか得られなかった。

(2) 成果指標と2024年度(令和6年度)実績値 *は後期計画から新たに指標とした項目

基本的 施策	指 標	実績値				前年度 比較	目標値
		2021 年度 (R3 年度)	2022 年度 (R4 年度)	2023 年度 (R5 年度)	2024 年度 (R6 年度)		2026 年度 (R8 年度)
(1)	公民館及びふれあいセンター等で開催する講座の延受講者数	15,335 人	18,977 人	20,801 人	16,857 人	↓	25,000 人
(2)	生涯学習情報サイトに登録されている講師数	298 人	301 人	323 人	347 人	↑	340 人
(3)	公民館まつりの参加団体数	74 団体	108 団体	102 団体	85 団体	↓	150 団体
	学習活動を通じて身に付けた知識や技能を、地域でのまちづくりや地域の活性化のために生かしたい人の割合	3.0%	—	—	—	-	7.0%

(3) 主な取組み状況

※取組みの一覧は、資料52～61ページに掲載

基本的施策(1) 社会的課題に対応した学習機会の充実

【取組み 21】 健康に関する学習機会の充実

主な内容	事業名	事業概要	令和6年度実績	担当課
●各ライフステージの健康課題に対応した講座の実施	お気軽健康教室	高齢期の自立度の低下を防ぎ、健康寿命の延伸を図るため、ロコモティブシンドロームや認知症の予防に効果的な軽運動を行う教室を開催する。	(1)総合保健医療センター 実施回数：42回 延参加者数：996人 (2)保健センター 実施回数：90回 延参加者数：1,378人	健康増進課
●健康づくりや介護予防を実践する機会の提供	市民健康づくり講座	生活習慣を改善するきっかけづくりとなるよう、健康づくりと予防方法に関する正しい知識を身につけることができる講座を実施する。	実施数：5講座（すべてオンライン） 講座内容：頑張らなくてOK！幸せな自分を実現する快適カラダづくり、だしソムリエに学ぶ！減塩しながらでもおいしく食べるコツ、うつ病予防の第1歩！ストレスへの理解と改善チャレンジ ほか 延受講者数：510人	健康増進課

【取組み 22】 環境に関する学習機会の充実

主な内容	事業名	事業概要	令和6年度実績	担当課
●座学やフィールドワーク、ワークショップ等を通じた環境を学ぶ機会の提供	市民環境アカデミー	地球温暖化、省エネルギー、身近な自然環境やその保全活動等をテーマに、座学やフィールドワーク、ワークショップを通じて学ぶ機会を提供する。	実施内容： 第1回「人間活動と生物多様性の相互関係について」 第2回「再生可能エネルギー事業と地域活性化」 第3回「築水池・植物園フィールドワーク」 第4回「地球温暖化と私たちの未来～古気候学の視点から～」 第5回「バローグループの100年後のこどもたちに繋ぐ持続可能な社会づくりについて」 第6回「心理学からみる環境問題」 受講者数：45人	環境政策課
	カーボンフリー環境講座	地球温暖化対策に対し、自ら考え、実践することができる次世代の人材育成を図るため、地球温暖化対策等を学ぶ体験型講座を実施する。	小学生とその保護者を対象に、空港資源を活用して航空会社が取り組み、地球温暖化対策を学ぶ体験型講座を実施。 日時：2月8日（土） 場所：県営名古屋空港ターミナルビル3階会議室・F D A 格納庫 参加者数：36人	環境政策課

【取組み 23】 防災、防犯に関する学習機会の充実

主な内容	事業名	事業概要	令和 6 年度実績	担当課
● 防災、防犯に関する講座の実施	安全アカデミー	地域の安全について自ら考えて行動し、提言できる地域のリーダーを育成する春日井安全アカデミーを開催する。	生活安全コース：7 講座 防災コース：8 講座 実施期間：9 月 7 日（土）～12 月 7 日（土） 参加者数：104 人（82 人卒業）	市民安全課
	安全安心フェア	市民への自助力及び共助力の向上を推進するとともに、防災、防犯及び交通安全意識の高揚を図ることを目的に、安全安心フェアを実施する。	防災・防犯・交通安全の啓発事業を実施することにより、市民への自助力及び共助力の向上を推進するとともに、防災・防犯・交通安全への意識の高揚を図ることを目的とした安全安心フェアを実施した。 日 時：6 月 8 日（土）午前 10 時～午後 3 時 会 場：文化フォーラム春日井交流アトリウム、市民広場及び市役所 1 階市民ホール 参加人数：約 3,000 人	市民安全課

【取組み 24】 情報化・国際化社会に関する学習機会の充実

主な内容	事業名	事業概要	令和 6 年度実績	担当課
● パソコンやスマートフォンなどの操作を学ぶ講座の実施	ICT の活用に関する講座	パソコンやスマートフォンなどの操作方法や活用方法をはじめとした ICT に関する講座を実施する。	(1) 公民館 実 施 数：10 講座（21 回） 実施講座：android アプリ活用講座、スマートフォン講座（防災／詐欺防止編） ほか 延受講者数：352 人 (2) ふれあいセンター 実 施 数：9 講座（34 回） 実施講座：シニアのためのスマホ活用講座、プログラミングを学んで世界に 1 つのスマホゲームをつくっちゃおう ほか 延受講者数：395 人 (3) 青年の家 実 施 数：1 講座（2 回） 実施講座：シニアのための初めての生成 AI 講座 延受講者数：20 人	公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター

主な内容	事業名	事業概要	令和6年度実績	担当課
●多文化共生に向けた学習機会の充実	わくわく！ふれあいワールド	異文化への理解を深めるとともに、外国人市民と日本人市民との交流を図るため、市内で活動する国際交流団体により設立された春日井市国際交流ネットワークに委託し、「わくわく！ふれあいワールド」を実施する。	実施回数：9回 実施内容：世界のことで「ありがとう」を伝えよう、フィリピンを知ろう おやこであそぼう 英語の歌とおはなし in Summer など 延参加者数：3,537人	多様性社会推進課

【取組み 25】 男女共同参画に関する学習機会の充実

主な内容	事業名	事業概要	令和6年度実績	担当課
●男女共同参画セミナー、出前講座の実施	男女共同参画市民フォーラム	男女共同参画社会の実現を目指した意識啓発を目的に、市民、社会活動団体、企業、市がともに考える機会として、市民フォーラムを開催する。	開催日：11月24日（日） 参加人数：164人 内 容：講演会、パネル展示	多様性社会推進課
●女性のキャリアアップや男性の家事、育児、介護能力向上のための講座の開催	女性のキャリアアップや男性の家事能力向上に関する講座	女性のキャリア形成や管理職に就くまでのイメージの構築、本市で起業を希望する女性起業家の経営安定と質の向上を図るためのセミナー等を開催する。また、男性が主体的に育児に参加できるよう、セミナーを開催する。	(1)女性向け講座 実施数：4講座 実施内容：女性のためのキャリアアップ講座、女性のための起業応援セミナー、起業応援セミナーフォローアップ会、テレワーク入門セミナー 延受講者数：237人 (2)男性の育児力向上講座 男性が主体的に育児に参加できるよう、セミナーを開催した。 実施数：1講座 実施内容：マジックパパのふしぎあそび 受講者数：43人	多様性社会推進課

基本的施策(2) 地域の担い手となる人材の発掘及び育成

【取組み 26】 指導者となりうる人材の育成

主な内容	事業名	事業概要	令和 6 年度実績	担当課
● 人材を育成するための講座の実施	安全・安心まちづくりボランティア養成講座	地域の安全についてリーダー的役割を担うボランティアを養成するため、安全アカデミーを卒業した人を対象に養成講座を実施する。	開催期間：1月23日（木）・24日（金） 実施内容：普通救命講習、防犯講話、避難所運営ゲーム（HUG）、気象防災アドバイザーによる防災講話、避難所資材の取り扱いについて	市民安全課
	認知症サポーター養成講座	認知症に関する正しい知識の普及や認知症高齢者等を介護する家族等の支援を図るため、認知症サポーター養成講座を開催する。	実施回数：27回 養成人数：1,556人	地域共生推進課

【取組み 27】 ボランティアの育成

主な内容	事業名	事業概要	令和 6 年度実績	担当課
● ボランティアを養成するための講座や教室等の開催	人材育成セミナー	ボランティアや市民活動で活躍する人材を育成するため、人材育成セミナーを実施する。	(1)市民ニーズに合った講座を開催し、市民活動を担う人材を育成した。 ・青少年ボランティアスクール 延受講者数 180人 ・親子でボランティアチャレンジ 延受講者数 59人 (2)市民交流会議企画の市民活動団体のニーズに合った講座を開催した。 ・市民交流会議企画セミナー 未実施 ・かすがい市民活動情報サイトサポート 利用者22人	市民活動支援センター
	図書館読み聞かせボランティア養成講座	図書館等において読み聞かせ事業を推進するため、読み聞かせボランティアに必要な知識や心構え、読み聞かせの技術等を習得する養成講座を実施する。	実施回数：1回（3日間） 延受講者数 8 人	図書館

基本的施策(3) 学習成果を生かしたまちづくりの推進

【取組み28】 学びの成果を発表する機会の提供

主な内容	事業名	事業概要	令和6年度実績	担当課
●公民館まつりを活用した発表機会の確保	公民館まつり	公民館で活動する団体が日頃の活動の成果を発表及び展示する機会として開催する。	(1)中央公民館 発表会参加団体数：11団体 作品展参加団体数：11団体 (2)知多公民館 発表会参加団体数：7団体 作品展参加団体数：9団体 (3)鷹来公民館 改修工事のため、休館中 (4)坂下公民館 発表会参加団体数：10団体 作品展参加団体数：14団体 (5)東部公民館 発表会参加団体数：14団体 作品展参加団体数：9団体	公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター
●生涯学習情報サイト登録講師の市民講座等への登用	登録講師の市民講座等への登用	公民館等で実施する講座に生涯学習情報サイトに登録されている講師などを積極的に登用する。	講師新規採用数：6人 情報サイト登録者：10人	公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター

【取組み29】 市民自らが企画した講座の開催

主な内容	事業名	事業概要	令和6年度実績	担当課
●市民が講師として活躍する場の提供	講師発掘・登用事業	さまざまな知識や技術を持った市民を募集し、応募者自らが企画した講座の講師として活躍する場を提供する。また、登用した講師を市主催講座で積極的に活用する。	応募件数：32件 採用件数：15件 実施数：12講座 実施講座：気軽に楽しむ着物ライフ！貴方も和装美人に～半幅帯の結び方・基本からアレンジまで ほか 延受講者数：201人	いきがい推進課
●生涯学習活動団体が講師を務める講座の実施	市民のためのチャレンジ講座等	施設を利用している生涯学習活動団体による講座を実施する。	(1)公民館 実施数：2講座（4回） 実施講座：いきいき学び舎、映える！楽しい！多色刷り版画を体験しよう 延受講者数：57人	公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター

【取組み30】 住民主体による地域課題の解決に向けた学習の支援

主な内容	事業名	事業概要	令和6年度実績	担当課
● 地域の課題解決に向けた取組に対する費用の助成	生涯学習まちづくり出前講座	市民等により構成される団体の依頼に応じ、市職員を地域の集会施設等に派遣し、行政情報や施策に関する講座を実施する。	実施数：7講座 申請団体：地区社会福祉協議会 ほか 実施講座：地域の実情を踏まえた移動手段について、外来種について、春日井市の農業について ほか 延受講者数：214人	いきがい推進課

▶ 基本目標Ⅳ 学びを豊かにする環境づくり

(1) 施策の評価(事業担当課による自己評価)

基本的施策	報告 事業数	自己評価				
		◎	○	△	×	評価なし
(1) 身近な生涯学習施設の充実	11	－	11	－	－	－
(2) 関係機関とのネットワークの構築	5	－	4	1	－	－

※自己評価基準 ◎ : 想定以上の成果が得られたところがあった。前年度実績を上回る成果があった。
○ : 全般的に、概ね想定した成果が得られた。前年度実績と同程度の成果があった。
△ : 想定した目標に到達できなかったところがあった。前年度実績を下回る成果しか得られなかった。
× : 全般的に想定した目標に到達できなかった。または、前年と比較し大幅に下回る成果しか得られなかった。

(2) 成果指標と2024年度(令和6年度)実績値 *は後期計画から新たに指標とした項目

基本的 施策	指 標	実績値				前年度 比較	目標値
		2021 年度 (R3 年度)	2022 年度 (R4 年度)	2023 年度 (R5 年度)	2024 年度 (R6 年度)		2026 年度 (R8 年度)
(1)	公民館及びふれあいセンター等の利用者数	335,309 人	446,660 人	462,321 人	445,946 人	↓	500,000 人
(2)	大学連携講座の実施数	9 講座	18 講座	18 講座	10 講座	↓	20 講座
	地域の民間事業者、NPO 等と連携した講座の実施数*	50 講座	45 講座	64 講座	33 講座	↓	60 講座

(3) 主な取組み状況

※取組みの一覧は、資料62～64ページに掲載

基本的施策(1) 身近な生涯学習関連施設の充実

【取組み 31】 市民が利用しやすい、利用したくなる施設運営

主な内容	事業名	事業概要	令和6年度実績	担当課
●利用者ニーズに基づいた改善や管理運営方法の改善	施設予約に関する利便性の向上	市民にとって利用しやすい施設運営を推進するため、予約方法などの利便性の向上を図る。	・令和6年10月から認定団体の認定要件の一つである人数の規定を10人から5人に変更する等、認定要件の緩和を行った。 ・生涯学習活動団体の活動しやすくなるよう、一般の予約より優先して、3月前から予約を受付した。	公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター

【取組み 32】 施設の有効活用

主な内容	事業名	事業概要	令和6年度実績	担当課
●学校体育施設の開放	学校体育施設の開放	市民の健康増進や体力の向上を図るため、スポーツ活動の場として市内の小中学校体育館、中学校武道場及び県立学校体育施設を学校教育に支障のない範囲で開放する。	(1)県立学校体育施設開放 開 放 校：県立春日井高等学校 始め8校の校庭 利用者数：1,043人 (2)小中学校体育施設開放 開 放 校：小中学校52校の体育館及び中学校15校の武道場 利用者数：288,328人	文化スポーツ振興課
●予約が入っていない集会室等の活用	スタディールーム	公民館、ふれあいセンター等の空き室を有効活用し、学習室として開放することで中高生の自主学習を支援する。	実施施設：中央公民館、知多公民館、鷹来公民館、坂下公民館、味美ふれあいセンター、高蔵寺ふれあいセンター、南部ふれあいセンター、西部ふれあいセンター、東部市民センター、レディヤンかすがい 利用可能日：学校の長期休業期間及び土曜日、日曜日、祝日（午前9時から午後5時まで） 利用できる人：市内在住、在学の小中学生、高校生 利用人数：6,573人	いきがい推進課

【取組み 33】 施設の適切な維持管理

主な内容	事業名	事業概要	令和 6 年度実績	担当課
● 公共施設等施設 マネジメントによる計 画的な改修・修繕	計画的な修繕	施設の定期的な点検を行い、劣化 状況等を把握するとともに、施設保 全計画に基づき、計画的な修繕を 実施する。	施設マネジメント計画に基づき、計画的に施設の改修、修 繕を行う。 (1)鷹来公民館大規模改修工事実施設計、大規模改 修工事 (2)知多公民館LED照明更新工事 (3)坂下公民館空調設備ドレン配管修繕等 (4)味美ふれあいセンター屋上防水改修工事 (5)南部ふれあいセンター飛散防止フィルム貼付工事、集 会室畳表取替修繕、換気扇修繕等 (6)西部ふれあいセンターエレベーター更新工事、非常用 発電機更新工事等 (7)青年の家エレベーター改修工事実施設計、非常用 発電機更新工事実施設計 (8)少年自然の家トリム撤去等工事、トリム遊具設置工 事、破損散策路復旧工事 ほか	公民館、ふれ あいセンター、 東部市民セン ター、青年の 家、道風記念 館、多様性社 会推進課、野 外教育センタ ー（社会教 育施設）
	計画的な修繕	施設の定期的な点検を行い、劣化 状況等を把握するとともに、施設保 全計画に基づき、計画的な修繕を 実施する。	施設マネジメント計画に基づき、計画的に施設の改修、修 繕を行う。 (1)総合体育館：第一競技場女子更衣室内トイレ換 気扇修繕 (2)温水プール：直流電源装置更新その他修繕 (3)市民球場：塔時計制御部修繕 ほか	文化スポーツ 振興課 （社会体育 施設）

基本的施策(2) 関係機関とのネットワークの構築

【取組み 34】 地域の大学や事業者との連携

主な内容	事業名	事業概要	令和 6 年度実績	担当課
● 大学や民間事業 者等との連携による 講座の開催	大学連携講座の開催	市民の多様化する学習ニーズに応 えるため、大学が持つ優れた人材と 設備を活用し、高度な内容の講座 を実施する。	連携大学：中部大学、名城大学 実 施 数：10講座 実施講座：歌謡曲に歌われる花々、バイオテクノロジーを 用いた作物の品種改良、外国人宣教師達は 日本語をどのように学んだか ほか 延受講者数：247人	いきがい推進 課

主な内容	事業名	事業概要	令和6年度実績	担当課
●大学や民間事業者等との連携による講座の開催	民間団体・事業者との連携	民間団体や企業が持つ知識やノウハウを活用するため、講座への講師として派遣を要請するなど連携を図る。	(1)公民館 実 施 数：20講座（55回） 実施講座：免疫力をアップしよう！体にやさしい簡単エクササイズ、はじめてのバドミントン、間伐材利活用まつり〜クラフトづくりと竹とんぼ飛ばし〜ほか 連 携 先：春日井市スポーツふれあい財団、春日井市バドミントン連盟、みどりのまちづくりグループほか 延受講者数：1,490人 (2)ふれあいセンター 実 施 数：13講座（58回） 実施講座：らくちん筋力アップ体操、夏休みこども劇場、和で華やぎ和で祝う「お正月花1 day講座」ほか 連 携 先：あい・愛マインド、グループゆう、春日井市華道連盟ほか 延受講者数：729人	公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター

【取組み 35】 近隣自治体との連携

主な内容	事業名	事業概要	令和6年度実績	担当課
●近隣自治体の情報や人材の相互利用による生涯学習の推進	愛日社会教育担当者連絡会	近隣市町との連携や情報共有を図るため、小牧市や瀬戸市を始め11市町で構成された愛日社会教育担当者連絡会に参加する。	愛日社会教育担当者連絡会に参加し、情報交換を行った。 5月24日（金）：名古屋市三の丸庁舎 8月27日（火）：研修会（小牧市） 1月28日（火）：研修会（尾張旭市）	いきがい推進課

資料編 令和6年度 生涯学習推進計画進捗状況(一覧)

基本目標Ⅰ 学びにつながるきっかけづくり

30

基本的 施策		取組み		主な内容	事業名	事業概要	令和6年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
1	生涯学習に関する情報提供の充実	1	多様な媒体を活用した情報の提供	より多くの市民に情報を届けられるよう、多様な媒体を効率的に活用し、市が開催する講座等の情報を発信します。	広報春日井	生涯学習に関する情報を始め、市の魅力、市政情報に関するきめ細かな情報を発信するため、広報誌を発行する。	発行回数：年12回（毎月1日発行） 仕 様：A4 全面カラー 発行部数：96,000部 主な内容：市のお知らせや催し、講座情報、市の魅力情報 ほか 配 布 先：町内会加入世帯への配布の他、公共施設や金融機関、郵便局、医療機関、大型商業施設コンビニエンスストアほか	○	公共施設や金融機関、郵便局、医療機関やコンビニエンスストアなど、多くの場所へ設置し、情報が取得できる環境を整備している。また、市の大型商業施設であるias(イアス)春日井への設置も実施している。	広報広聴課
					● 広報春日井、民間の生活情報誌などの紙媒体を活用した情報の提供	民間の地域情報誌の活用	民間の地域情報誌を活用し、講座やイベント情報、生涯学習に関する情報を発信する。	○	子ども・親子向けのイベントは、地域みっちゃんく生活情報誌「月刊はるる」に掲載した。掲載回数：年12回	広報広聴課
					民間の地域情報誌の活用	民間の地域情報誌を活用し、講座やイベント情報、生涯学習に関する情報を発信する。	民間地域情報誌に生涯学習に関する情報を掲載した。 令和6年4月号：生涯学習、市民活動、スポーツに取り組む人を取り上げ紹介	△	市の方針変更により、民間地域情報誌の活用よりも市広報誌の活用に重点を置くことになった。	いきがい推進課
					施設における生涯学習情報コーナーの設置	公民館等のロビーに生涯学習に関する講座やイベントについて紹介するスペースを設置する。	施設内の共有スペースを活用し、各公民館などで開催される講座・行事の情報コーナーを設置した。	○		公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター
				● 生涯学習情報サイト「まなびや選科」、市ホームページ、SNS等、インターネットを活用した情報の提供	市ホームページの運営	市民一人ひとりの求める情報を的確に提供できるよう、春日井市ホームページで講座情報、イベント情報を提供する。	HPアクセス件数：10,016,757件（前年比 1,096,113件減） イベントカレンダーアクセス件数：143,263件（前年比39,744件増）	○	市ホームページにおいて、情報発信を行い、広く講座情報等の周知ができた。	広報広聴課
					生涯学習情報サイト「まなびや選科」の運営	生涯学習情報サイト「まなびや選科」で講師や生涯学習活動団体の情報を提供する。	アクセス件数：72,210件（前年比 31,681件増） 団体登録件数：123団体（前年比 1 団体増） 講師登録件数：347人（前年比 24人増、新規登録 43人）	◎		いきがい推進課
					SNSによる発信	市公式LINEを運用し、様々な市政情報を発信する。	市公式LINE友だち登録者数 27,675人 「文化・生涯学習」セグメント登録者数 4,886人（前年比763人増） 「文化・生涯学習」分野へのセグメント配信件数 79件	○	広報春日井や戸籍住民課窓口でのチラシ配布等によりLINE友達登録の周知を行った。	広報広聴課

基本目標Ⅰ 学びにつながるきっかけづくり

基本的 施策	取組み	主な内容	事業名	事業概要	令和6年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
1 生涯学 習に関 する情 報提供 の充実	1 多様な媒体 を活用した 情報の提供	より多くの市民に 情報を届けられ よう、多様な 媒体を効率的に 活用し、市が開 催する講座等の 情報を発信しま す。 ●駅や施設等に設 置されているデジ タルサイネージ等 を活用した情報の提供	様々な情報媒体を 活用した情報の発 信	施設に設置されているデジ タルサイネージ等を活用して 情報を提供する。	ふれあいセンターなどの施設に設置されているデジタルサイネージを活用し、施設の 貸館利用の紹介動画や講座開催の情報を提供した。	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
			春日井駅デジタルサ イネージでの情報発 信	春日井駅のデジタルサイ ネージを活用して情報を発 信する。	年間25回スケジュールを更新（原則として月2回） ＜放映例＞ ・道風記念館企画展「道風記念館所蔵 現代の書優品展」P R ・道風記念館企画展「おののとうふう」～中国の書と和様の書～PR ・道風記念館特別展「岡寺版集帖」P R	○	JR春日井駅自由通路に設置している大 型モニターの公共掲示板を用いて、動画 や静止画で春日井市の魅力や市政情 報等を放映し、市政情報の更なる周知 及び市内外への市の魅力発信を図った。	広報広聴課
			市政だより	放送をケーブルテレビに委 託し、市民に映像による行 政情報を提供し、市政の PR及び政策への理解を深 める。	市の政策や行催事などの番組の制作、放映 ・放映回数 毎週1番組（5分） 原則7回／日、計51番組 ・市施設での放映等 東部市民センター、味美ふれあいセンター等17施設	○	市政だよりについては、過去分を YouTubeで公開しておりいつでも視聴で きる。	広報広聴課
			報道機関との連携	報道機関に取材依頼し、 各種講座やイベントのPRを 行う。	講座、講演会、生涯学習活動団体による館内展示について報道各社へ取材を 依頼し、新聞に記事が掲載及びケーブルテレビで放送された。	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
	2 生涯学習の 魅力や活動 情報の発信	生涯学習に対す る市民の関心を 深めるため、学 ぶ楽しさや生涯 学習活動の魅 力や重要性を伝 えます。 ●市内の生涯学習 活動団体やサークル 等の情報発信 ●生涯学習情報サ イト「まなびや選科」 掲載内容の充実	●活動する人の声 や画像を活用した 魅力発信	活動する人の声 が伝わる魅力的な発 信	講座受講者や活動団体の 様子が伝わるような手 法で生涯学習の魅力を発 信する。	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
			生涯学習の魅力や 活動団体の紹介	生涯学習の楽しさや魅力を 伝えられるような媒体 等を活用して情報を発信す る。	・各施設で活動する生涯学習活動団体の写真付きPRポスターを館内で掲示し た。 ・文化系団体が制作した作品を館内に展示し、活動成果を紹介した。 ・生涯学習団体の協力を得て開催する講座を企画し、活動内容の魅力を団体の メンバー自らがアピールする場を提供した。 ・団体紹介コーナーを設け、認定団体一覧や、利用団体の会員募集案内等の 情報を発信した。	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
			まなびや選科の充実	公民館やふれあいセンター 等で活動している団体の活 動内容等をインターネット上 で提供する。	「講師情報」「団体・サークル情報」についてインターネットを通して広く提供した。 また、登録している講師の活動の様子がわかるような写真やホームページへのリン クを掲載した。 アクセス件数：72,210件（前年比 31,681件増）	◎		いきがい推進課

基本目標Ⅰ 学びにつながるきっかけづくり

32

基本的 施策		取組み		主な内容	事業名	事業概要	令和6年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
2	学習活動の多様なきっかけの提供	3	興味関心から実践へとつながる講座等の実施	生涯学習を始めるきっかけとなるよう、初めての人でも気軽に参加できる学習機会を提供するとともに、生涯にわたり意欲的に学びを深めることができるような仕組みづくりを検討します。	初心者向け講座	●様々な分野の初心者向け講座、体験講座の実施	(1)公民館 実施数：33講座（164回） 実施講座：やさしいウクレレ入門、はじめてのバドミントン、はじめてのスマートフォン教室 ほか 延受講者数：2,296人 (2)ふれあいセンター 実施数：41講座（112回） 実施講座：手ぶらで学べる！「着付けレッスン1年生」、初級毛筆書道「美文字に挑戦！」 ほか 延受講者数：1,401人 (3)青年の家 実施数：12講座（65回） 実施講座：初心者のためのオカリナ入門講座、初心者のためのピアノ入門講座、気軽に歌おうボイストレーニング入門講座 延受講者数：683人	○		公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター
					アラカルト講座		(1)公民館 実施数：3講座（27回） 実施講座：いきいきまなび舎、坂下いきいきゼミナール、友遊セカンドライフ 延受講者数：591人 (2)ふれあいセンター 実施数：1講座（1回） 実施講座：若旦那と楽しむ、和文化ワークショップ 延受講者数：12人	○		公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター
				●習得状況に応じてステップアップできる講座の実施	ステップアップ講座		(1)公民館 実施数：8講座（31回） 実施講座：紙バンドで頭の体操（中級）、楽しいウクレレ講座（中級）ほか 延受講者数：335人 (2)ふれあいセンター 実施数：3講座（18回） 実施講座：シニアのための持ち込みスマートフォン講座（入門編・応用編）ほか 延受講者数：175人	○		公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター

基本目標Ⅰ 学びにつながるきっかけづくり

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和 6 年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
2	学 習 活 動 の 多 様 な っ か け の 提 供	4	活動に関する 相談窓口 機能の充実	生涯学習に関する相談や学習成果の生かし方、市民活動に関することなど、様々な相談に対応します。	●生涯学習指導員等による相談窓口の充実	生涯学習指導員	市民からの生涯学習に関する相談への対応や学習情報の提供を行う生涯学習指導員を配置する。	生涯学習指導員配置状況 いきがい推進課 2人 松原学習センター 3人	○		いきがい推進課
					●ボランティアや市民活動に関する相談事業の実施	ボランティア相談及び市民活動・NPO相談	ボランティアや市民活動を支援するため、ボランティアの紹介や市民活動に関する相談事業を実施する。	(1)ボランティア相談 火曜日～金曜日 午前9時～午後5時 相談件数 2,073件（前年 1,705件・368件増） (2)市民活動・NPO相談 火曜日～日曜日 午前9時～午後5時 （相談内容により予約制） 相談件数 57件（前年112件・55件減）	○	窓口での対面相談や電話での相談、団体の活動の場へ出向いての相談を行うことができた。 市民活動・NPO相談件数は前年減となったが、相談とは別に、およそ200団体の市民活動登録団体と個別に面談を実施し、団体の活動や課題についての把握を行った。	市民活動支援センター
		5	市民ニーズの 的確な把握	社会情勢や多様化・高度化するニーズに応じた学習機会を提供するため、様々な機会を捉えて市民ニーズを把握します。	●アンケートを活用した市民ニーズの把握	アンケートを活用した市民ニーズの把握	講座受講者へのアンケート調査を行うとともに、アンケートシステム等を活用して市民ニーズの把握を行う。	各講座において、実施後に受講者に対し、アンケート調査を行った。また、アンケート調査の結果を講師に提供し、改善すべき点を共有することで講座内容の改善を図った。	○		いきがい推進課、公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター
3	誰 も が 参 加 し や す い 学 習 機 会 の 提 供	6	生活様式に 応じた多様な 学習スタイルの 提供	市民の多様なライフスタイルに対応した学習機会を提供するため、多様な学習形態の充実を図ります。	●平日の夜間や休日に開催する講座の実施	夜間や休日における講座の開催	平日昼間に仕事などで参加しにくい人向けに、平日夜間や休日に講座を開催する。	(1)公民館 実 施 数：66講座（135回） 実施講座：クラフトテープでおでかけバッグづくり、おやじの料理講座 ほか 延受講者数：2,194人 (2)ふれあいセンター 実 施 数：36講座（80回） 実施講座：心をゆるめる香りの講座、ふしぎなバタバタ屏風をつくろう！ ほか 延受講者数：1,047人 (3)青年の家 実 施 数：3 講座（10回） 実施講座：ドドンと挑戦！夏の子ども和太鼓体験講座、キッズ！アウトドアわくわく体験講座、楽しく歌って踊って音楽と仲良くなろう！～リトミックで心とからだを豊かに育む～ 延受講者数：160人	○		公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター
						平日昼間に仕事などで参加しにくい人向けに、平日夜間や休日に講座を開催する。	実 施 数：7 講座 実施講座：女性のための相続講座、簿記3級をめざして、バドミントンを 楽しもう、子育て講座 ほか 延受講者数：435人	○	休日に開催することにより、多くの人に参加していただくことができた。	多様性社会推進課	

基本目標Ⅰ 学びにつながるきっかけづくり

34

基本的施策		取組み	主な内容	事業名	事業概要	令和6年度の実績	自己評価	事業実施の成果・特記事項	担当・関係課
3	誰もが参加しやすい学習機会の提供	6	生活様式に応じた多様な学習スタイルの提供	●託児付き講座の実施	託児付き講座	(1)公民館 実施数：4講座（8回） 実施講座：ママへのご褒美！オシャレ講座、和紙で作るアイスクリーム（ほか） 延受講者数：124人（託児15人） (2)ふれあいセンター 実施数：3講座（9回） 実施講座：似合うがわかるおしゃれママ応援講座 ※味美ふれあいセンターにて、参加者以外の子どもの同伴を可とする講座を6回実施した。【同伴可講座】おやこでいっしょにABC 延受講者数：111人（託児9人） (3)青年の家 実施数：1講座4回 実施講座：楽しく歌って踊って音楽と仲良くなろう！～リトミックで心とからだを豊かに育む～ 延受講者数：94人（託児0人）	○		公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター
					託児付き講座	子どもを持つ人も参加しやすいよう、託児付きの講座を実施する。 実施数：1講座（1回） 実施講座：子育て講座 延受講者数：2人（託児1人）	△	託児付き講座の数が減り、受講者数も少なかったが、アンケートでは受講者の満足度は高かった。	多様性社会推進課
				●オンライン講座や動画配信によるデジタルコンテンツの充実	オンライン講座、配信講座	大学連携講座等で会場で受講する対面式とZOOMによるオンラインを併用した講座を実施する。また、時間や場所を問わず自分の好きな時に受講できる配信講座を実施する。 対面・オンライン受講併用講座（いきいきアカデミー） 実施数：54講座（54回） 延受講者数：5,922人（うちオンライン630人）	○	オンデマンドの利点を生かし、対面講座欠席者に対しても配信講座を受講できるようにし、学習機会を確保した。	いきがい推進課、公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター
						実施数：5講座（すべてオンライン） 講座内容：頑張らなくてOK！幸せな自分を実現する快適カラダづくり、だしソムリエに学ぶ！減塩しながらでもおいしく食べるコツ、うつ病予防の第1歩！ストレスへの理解と改善チャレンジ（ほか） 延受講者数：510人	○		健康増進課
				●施設職員のオンラインスキルの向上	職員研修	施設職員のスキルアップのため、配信講座の開催方法に関する研修を実施する。 令和6年度の実績なし	×		いきがい推進課

基本目標Ⅰ 学びにつながるきっかけづくり

基本的 施策			取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和 6 年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
3	誰 も が 参 加 し や す い 学 習 機 会 の 提 供	7	障がい者、 外国人等の 生涯学習活 動への支援	障がいのある人 が地域社会の中 で多様な学習 活動に参加でき るよう、障がいに 配慮したサポート 体制を含め、合理的 配慮を提供した学習機 会の事実を図ります。	● 障がいへの理解 促進に向けた啓発	障がいを理解するた めの啓発講座	障がいのある人も社会の一 員として活動に参加できる 環境を醸成するため、障が いに対する正しい理解と認 識を深める講演会を開催 する。	講演：「あかりお互い様の社会へ」 ～見た目には障がい者に見えない私がヘルプマークを通して願うこと～ 日時：令和 6 年12月7日（土）14：00～15：30 場所：レディヤン春日井 多目的ホール 参加者：67人 講師：塚本 明里氏（歩ける車椅子タレント、モデル、ライフスピーカー） 内容：講師自身の体験やヘルプマークを通じた障がい理解のための講演会	○		障がい福祉課	
					● 障がい者向け講 座等の実施	障がい者向け講座	障がいの特性に配慮した講座を開催する。	昨年度に引き続き、パソコン講座や視覚障がい者スマートホン講座等の日常生活に役立ててもらえる講座、障がいの特性に配慮しながら楽器演奏などを楽しめる講座、誰でも簡単に運動ができる運動教室等を設定した。 実 施 数：18講座 実施講座：元気パワーアップ運動教室、のんびりゆったり体操教室、視覚障がい者パソコン講座、音楽療法、こけ玉づくり教室、はじめてのフラダンス教室 ほか 延受講者数：1,437人（内、障がい者302人） ※障がいの有無に関わらず募集	○	新たに「こけ玉づくり教室」や「はじめてのフラダンス教室」を開講し、参加者同士のコミュニケーションや身体の健康維持を図りながら楽しめるよう企画した。	社会福祉協議会	
							障がいの有無に関わらず生涯学習活動に参加できるような機会を提供する。	(1)ふれあいセンター 実 施 数：2 講座（2 回） 実施講座：わくわく親子カップケーキ作り、もみじ茶会 延受講者数：63人	○		公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター	
						障がい者の生涯学習支援	障がいの有無に関わらず生涯学習活動に参加できるような機会を提供する。	令和 3 年度から令和 5 年度まで文部科学省の委託事業として実施した「学校卒業後における障害者の学びの支援推進」を令和 6 年度は市が新規に「障がいの生涯学習支援」として継続することにより、障がい者の方の生涯学習活動の場を提供した。 障がい者を主体としたサークル活動：12回、延参加者数122人 文化・スポーツ講座：2 講座、6 回、延受講者数 52人 障がい者の生涯学習支援連携協議会：会議 2 回	○		いきがい推進課	
					● 障がい者図書サービスの充実	障がい者図書サービス	障がい者に学ぶ機会を提供するため、録音図書や点字図書の製作、ボランティアによる対面読書、図書無料郵送貸出を行う。	(1)デージー図書製作数：39種 (2)点字データ製作数：69種 (3)対面読書：0 回 (4)音訳技術講習会（初級編） 1 回（12日間） 受講者数：3 人 (5)音訳デジタル録音技術講習会 1 回（2 日間） 受講者数：39人	○	全般的に、前年度実績と同程度の成果があった。	図書館	

基本目標Ⅰ 学びにつながるきっかけづくり

36

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和6年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
3	誰 も が 参 加 し や す い 学 習 機 会 の 提 供	7	障 が い 者、 外 国 人 等 の 生 涯 学 習 活 動 へ の 支 援	外 国 人 市 民 が 希 望 に 応 じ た 学 習 が で き る よう、 学 習 の 支 援 や ニーズに 応 じ た 学 習 機 会 の 提 供 に 努 め る と と も に、相 互 理 解 の た め そ れ ぞ れ の 文 化 等 を 学 ぶ 機 会 の 充 実 を 図 り ま す。	●外国人向け日本語講座等の実施	外国人向け学習支援	日本語に関する知識や能力を高める日本語教室を開催する。	「生活者としての外国人」の日本語に関する知識や能力を高める日本語教室を開催した。また、生活に必要な知識を身に付ける学習機会及び日本に対する理解を深める日本の文化体験講座も合わせて行った。 (1)日本語教室（かすがいふれあい教室） 実施回数：108回(3クラス×36回) 延参加者数：2,108人 (2)子どもの日本語教室 実施回数：39回 延参加者数：547人	◎	参加者の需要を満たすため、日本語教室（かすがいふれあい教室）を2か所に増加したことなどにより、延参加者が大幅に増加した。	多様性社会推進課
					●国際交流ルームの活用	国際交流ルーム	常駐の相談員を配置し、相談を受けたり、関係機関等に繋いだりする一元的相談を実施する。	常駐の相談員を配置し、多言語資料や国際交流に関する資料を揃えるとともに、言葉や文化の違い、様々な制度を知らないことから起こる不安を取り除くために相談を受けたり、生活に必要な情報を得るために関係機関等に繋いだりする一元的相談を実施した。 延利用者数：5,245人	◎	令和6年度から国際交流ルームがレディヤンかすがいに移動したが、より開けた場所へ移動したことにより、市民の利用機会が増え、延利用者数の大幅な増加につながった。	多様性社会推進課
					●外国人市民との交流事業の実施	わくわく！ふれあいワールド	多文化共生を促進するため、市内に住む外国人との交流や異文化の紹介・体験を行うわくわく！ふれあいワールドを開催する。	異文化への理解を深めるとともに、外国人市民と日本人市民との交流を図るため、市内で活動する国際交流団体により設立された春日井市国際交流ネットワークに委託し、「わくわく！ふれあいワールド」を実施した。 実施回数：9回 実施内容：世界のこゝろで「ありがとう」を伝えよう、フィリピンを知ろう、おやこであそぼう 英語の歌とおはなし in Summer など 延参加者数：3,537人	◎	延参加者数は減少したが、実施回数を増やしたことで、より異文化への理解を深める機会を設けることができた。	多様性社会推進課
						日本の文化体験イベント	日本に対する理解を深める日本の文化体験講座を開催する。	日本語教室と合わせて開催した。 (1)日本語教室（かすがいふれあい教室） 実施講座内容：折紙、茶道、書道、料理 延参加者数：166人 (2)子どもの日本語教室 実施講座内容：七夕、図書館探索、料理 延参加者数：35人	◎	参加者の需要を満たすため、日本語教室（かすがいふれあい教室）を2か所に増加したことなどにより、延参加者が大幅に増加した。	多様性社会推進課

基本目標Ⅱ 多様なニーズに応じた学び機会の充実

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和 6 年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
1	ライフ ステージに 応じた学 習機 会の充 実	8	乳幼児期にお ける学習機 会の充 実	乳幼児が健やかに 育つよう、運動や手 遊び等、様々な学 習プログラムの充実 を図ります。また、子 育て中の親が子育 てについて学んだり、 相談したりすること ができる機会の充実を 図ります。	●親子で楽しめる 学習プログラムの充 実	乳幼児を対象とした 講座	運動、手遊び、読み聞かせ など親子で楽しむプログラム や親子のふれあいを提供す る講座を実施する。	(1)講師発掘・登用事業 実 施 数：1 講座（2 回） 実施講座：はじめてのプログラミング 延受講者数：42人	○		いきがい推進課
						乳幼児を対象とした 講座	運動、手遊び、読み聞かせ など親子で楽しむプログラム や親子のふれあいを提供す る講座を実施する。	(1)公民館 実 施 数：12講座（41回） 実施講座：親子でふれあい遊び～楽しくピアノでリトミック～、子ども人形劇 ほか 延受講者数：1,503人 (2)ふれあいセンター 実施数：9 講座（35回） 実施講座：おやこでいっしょに A B C ！、夏休み子ども劇場 ほか 延受講者数：683人 (3)青年の家 実 施 数：1 講座 4 回 実施講座：楽しく歌って踊って音楽と仲良くなろう！～リトミックで心とからだ を豊かに育む～ 延受講者数：94人	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
						乳幼児を対象とした 講座	運動、手遊び、読み聞かせ など親子で楽しむプログラム や親子のふれあいを提供す る講座を実施する。	(1)ひよこ教室・ひよこミニ：85回 延参加者数：2,978人（保護者：1,380名、子：1,598名） (2)その他講座等：92回 延参加者数：2,677人（保護者：1,211名、子：1,466名）※対象者はこ どものため、一部参加者数に小中学生含 (3)その他イベント等：3回 延参加者数：622人（保護者：278名、子：344名）※対象者はこどものた め、参加者数に小中学生含	○		児童センター
						乳幼児を対象とした 講座	運動、手遊び、読み聞かせ など親子で楽しむプログラム や親子のふれあいを提供す る講座を実施する。	(1)育児講座 未就園児とその保護者を対象に、本の読み聞かせや親子での遊びなどの講座を通 じ、育児に必要な知識を提供した。 実 施 数：23回 参加者数：280組 589人 (2)親子教室 遊びを楽しみながら、親子が触れあう時間を持ったり、子育ての不安や悩みを話し 合える場を作ったり、保護者の友達作りも支援した。 ・親子教室すくすく 15回 参加者数：321人 ・子育てサロン 5 回 参加者数：70組148人 ・孫といっしょ 1 回 参加者数：5組17人 ・ふたごちゃん集まれ 1 回 参加者数：6組19人	○		子育て支援センター
						乳幼児を対象とした 講座	運動、手遊び、読み聞かせ など親子で楽しむプログラム や親子のふれあいを提供す る講座を実施する。	子育て家庭の育児不安を和らげ、よりよい親子関係を育てるとともに、子どもや親同 士の仲間づくりのための「出会いの場」を設けた。 実 施 数：35回 内 容：体操、手遊び、リズム遊び、親子ふれあい遊び、簡単な制作 あそび、季節行事など 延参加者数：1,305人	○		交通児童遊園

基本目標Ⅱ 学びを多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

基本的 施策		取組み		主な内容	事業名	事業概要	令和 6 年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
1	ライフ ステージに 応じた学 習機 会の充 実	8	乳幼児期にお ける学習機 会の充 実	乳幼児が健やかに 育つよう、運動や手 遊び等、様々な学 習プログラムの充実 を図ります。また、子 育て中の親が子育て について学んだり、 相談したりすること ができる機会の充実 を図ります。	乳幼児を対象とした 講座	運動、手遊び、読み聞かせ など親子で楽しむプログラム や親子のふれあいを提供す る講座を実施する。	子育て家庭の育児不安を和らげ、よりよい親子関係を育てるために、読み聞かせや体操等を通して親子で触れ合う機会を作るとともに、子どもや親同士の仲間づくりのための「出会いの場」を設ける。 ・読み聞かせ 50回 ・げんきっ子体操 191回 ・親子教室 38回 ・育児講座 13回 ・母親のリフレッシュ講座 2回 ・子育て教室 8回 ・親子エアロビクス 1回 ・バランスボールでリフレッシュ 1回 延参加者数：15,458人	○		子育て子育て支援館
						●親子で楽しめる 学習プログラムの充 実	乳児期からの読書活動を 支援するため、また家庭に おける読み聞かせを継続す るため、親子向けの読み聞 かせを行う。			
					乳幼児を対象とした 講座		(1)ブックスタート 実 施 数：54回 参加者数：2,005組 (2)赤ちゃんのためのおはなし会 実 施 数：図書館 21回、西部ふれあいセンター 11回 参加者数：図書館 692人、西部ふれあいセンター 144人 (3)紙芝居とお話を聞く会 実 施 数：134回 参加者数：1,370人 (4)すくすく読み聞かせ会※ 実 施 数：12回 参加者数：110人 ※令和 4 年度から 4 か年計画で実施中の幼稚園・保育園特別団体貸出用 図書の更新を進め、幼稚園・保育園における読み聞かせ活動を支援している。	○	全般的に、前年度実績と同程度の成果 があった。	図書館
					子育てサポートキャ ラバン隊	児童館、子育て支援拠点 等のない地域で事業を行う ことで地域の子育て支援機 能の充実を図り、子どもの 健やかな育ちを支援する。	実施場所：5 施設 延べ参加人数：3,641人（保護者：1,747人、こども：1,894人）			
				●子育てに関する 講座や育児相談の 実施	ババママ教室	妊婦とそのパートナーを対 象に、出産や育児等につい て理解を深めるよう保健師 や助産師が指導を行う教 室を開催する。	(1)ババママ教室 対象：市内在住の妊婦（妊娠 6 か月以降）とパートナー 参加者数：413人（パパ176人、ママ237人） 内容：助産師、保健師が実技等を交えながら指導を行う。市薬剤 師会の「お薬相談会」を教室終了後に開催 (2)日曜ババママ教室 対象：市内在住の初産婦（妊娠 7 か月以降）とパートナー 多胎は妊娠 6 か月以降対象 参加者数：849人（パパ425人、ママ424人） 内容：保健師講話（パープルライジング他）先輩パパの体験談、 妊婦疑似体験・育児体験、夫婦で行うリラクゼーション	○		こども家庭支援課

基本目標Ⅱ 多様なニーズに応じた学び機会の充実

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和6年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項		担当・ 関係課
1	ライフス テージに 応じた学 習機 会の充 実	8	乳幼児期にお ける学習機 会の充 実	乳幼児が健やかに 育つよう、運動や手 遊び等、様々な学 習プログラムの充実 を図ります。また、子 育て中の親が子育 てについて学んだり、 相談したりすること ができる機会の充実 を図ります。	●子育てに関する 講座や育児相談の 実施	食育講座(モグモグ 健康教室、カミカミ 健康教室、パクパク 健康教室)	乳幼児期の食育について、 月齢に分けて講座を実施 する。	(1)モグモグごっくん教室 対象：4～6か月児の第1子の保護者 参加者数：628人 (2)カミカミ歯っぴー教室 対象：8～11か月児の第1子の保護者 参加者数：284人 内容：管理栄養士の講話 離乳食の進め方、保健師の講話 生活リ ズム・成長発達・事故予防、歯科衛生士の講話 口腔機能の 発達と離乳食の進め方、食生活改善推進員が調理した離乳 食サンプル紹介 会場：総合保健医療センター	◎	定員数を増やす。 (1)モグモグごっくん教室 30組/回 (2)カミカミ歯っぴー教室 25組/回	こども家庭支援課	
						親支援事業(カンガ ルーひろば)	育児不安を抱える母親を 対象に、育児不安の軽 減、育児スキルの向上、孤 立感の解消を目的として、 育児指導を実施する。	対象：6か月～1歳児の子どもと母親 定員：18組 10回実施 スタッフ：臨床心理士、保健師、保育士、歯科衛生士 延参加者数：117人	○	対象者を母親のみから両親に変更する。 定員を18組に変更	こども家庭支援課	
						育児相談	子育ての不安や孤立感が 軽減するよう、電話や面 接、Eメールで子育ての不 安や悩みの相談を受ける。	(1)児童センター 実施日時：火曜日～日曜日 9：30～16：00 相談件数：30件 (2)東部子育てセンター 実施日時：月曜日～土曜日 10：00～16：00 相談件数：150件 (3)子育て応援広場キッコロ 実施日時：月曜日～金曜日 10：00～15：00 相談件数：68件 (4)グルッポふじとう児童館 実施日時：火曜日～日曜日 9：00～16：00 相談件数：374件 (5)すくすくEメール相談 相談件数：8件 (6)子育て子育て支援館 実施日時：火曜日～日曜日 9：00～18：00 相談件数：電話14件、面接204件、合計218件 (7)子育て支援センター 実施日時：月曜日～金曜日 9：00～16：00 電話相談：35件 面接相談：35件 主に就学前児童の親の育児不安や孤立感を解消するよう、乳幼児の子育て に関する相談に対し、助言や情報提供を行った。 (8)交通児童遊園 実施日時：火曜日～日曜日 9：00～18：00 相談件数：32件	○		子育て推進課（児 童センター等）、子 育て子育て支援 館、保育課（子育 て支援センター）、 交通児童遊園	

基本目標Ⅱ 学びを多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

40

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和 6 年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
1	ライフス テージに 応じた学 習機会 の充実	9	青少年期にお ける学習機会 の充実	青少年が地域や社 会に参加すること により、豊かな人間 性、社会性を身につ けることができるよう、 様々な体験活動を通 じて学ぶことができ る機会の充実を図り ます。	●親子体験活動等 の実施	各種親子講座	親子を対象に、料理、工 作、体操を始めとした体験 型の講座などを実施し、子 どもの創造力を引き出す。	(1)講師発掘・登用事業 実 施 数：1 講座（2 回） 実施講座：はじめてのプログラミング 延受講者数：42人	○		いきがい推進課
								(1)公民館 実 施 数：39講座（56回） 実施講座：親子で学ぶお片付け教室、家族で楽しくリトミック、親子でトラ イ！ダンスの基本ステップ入門 ほか 延受講者数：1,206人 (2)ふれあいセンター 実 施 数：15講座（36回） 実施講座：親子で体験！楽しい手打ちそば作り、親子講座「親子スイーツ クッキング」ほか 延受講者数：698人	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
								実 施 数：68回 実施講座：にこにこ劇場、ミニコンサート、ファミリークッキング、パパとクッキ ング、げんきっ子フェスタ、豆まき、おやこ広場イベント 延参加者数：2,130人	○		子育て子育て支援 館
								実 施 数：1 講座（6回） 実施講座：自転車乗り方教室 延受講者数：30人	○		交通児童遊園
				●小中学生を対象 とした講座、イベント の実施	小中学生を対象とした講座 （親子対象は含ま ない）	小中学生を対象に、料理、工作、体操を始めとした体験型の講座などを実施し、子どもの創造力を引き出す。	(1)大学連携講座 実 施 数：2 講座（2 回） 実施講座：中部大学連携講座 「光を虹色に分けてみよう！～光と色のヒミツをさぐる～」 「ゲームをとおして一緒にアメリカを知ろう！」 延受講者数：32人	○		いきがい推進課	

基本目標Ⅱ 多様なニーズに応じた学び機会の充実

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和6年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
1	ライフス テージに 応じた 学習機 会の充 実	9	青少年期にお ける学習機 会の充 実	青少年が地域や社 会に参加すること により、豊かな人 間性、社会性を身につ けることができるよう、 様々な体験活動を通 じて学ぶことができ る機会の充実を図り ます。	●小中学生を対象 とした講座、イベント の実施	小中学生を対象と した講座 （親子対象は含ま ない）	小中学生を対象に、料 理、工作、体操を始めとし た体験型の講座などを実施 し、子どもの創造力を引き 出す。	(1)公民館 実 施 数：11講座（18回） 実施講座：キッズのお菓子作り講座、子ども書道教室 ほか 延受講者数：310人 (2)ふれあいセンター 実 施 数：14講座（24回） 実施講座：夏休みこどもアフレコ体験教室、夏休みこども将棋教室 ほか 延受講者数：261人 (3)青年の家 実 施 数：2 講座 6 回 実施講座：ドドンと挑戦！夏の子ども和太鼓体験講座、キッズ！アウトドア わくわく体験講座 延受講者数：66人	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
							児童センター 講座等：16回、550人※対象者はこどものため、一部参加者数に乳幼児と その保護者含 その他イベント等：3回、622人（親：278名、子：344名） ※対象者 は子どものため、参加者数に乳幼児とその保護者含	○		児童センター	
							交通児童遊園 実 施 数：6回 実施講座：手品教室、和太鼓体験教室 ほか 延受講者数：65人	○		交通児童遊園	
							子育て子育て支援館 実 施 数：39回 実施講座：子ども講座、軽運動遊び、ヒップホップ、工作教室、児童の 部屋工作イベント、伝承遊び、おいしいクッキング、げんきっ子 会議 延参加者数：392人	○		子育て子育て支援 館	
							子ども司書養成講 座、10代の未来さ がし講座	講座を開催することで、図 書館への関心を高め、読 書活動の意義を見出すこと を促す。	実施数：2 講座（3 回） 実施講座：子ども司書養成講座 （現役の司書から図書館業務を学ぶ） 10代の未来さがし講座 （大学教員から人生の助けになることを学ぶ） 延受講者数：31人	○	全般的に、前年度実績と同程度の成果 があった。
						里山体験（田んぼ と森の学校）	里山的環境を利用した米 作り体験をすることで自然と 人との関わりについて考え、 勤労体験と収穫の喜びを 味わい、生きるために重要 な「食」について考える。	里山体験（田んぼと森の学校） 実 施 数：9回 延受講者数：270人	○		野外教育センター

基本目標Ⅱ 学びを多様なニーズに応じた学び機会の充実

42

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和 6 年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
1	ライフ ステージに 応じた学 習機 会の充 実	9	青少年期における 学習機会の充 実	青少年が地域や社会に参加することにより、豊かな人間性、社会性を身につけることができるよう、様々な体験活動を通じて学ぶことができる機会の充実を図ります。	●小中学生を対象とした講座、イベントの実施	土曜チャレンジ・アップ教室	小学生が土曜日を有意義に過ごす機会を提供するため、大学や地域の企業等の協力により、小学校においてスポーツや理科の実験等を行う。	子どもたちの自主性を高め、幅広い成長を促すとともに可能性を広げるために、地域の多様な経験や技能を持つ人材・大学・企業等の協力により、子どもたちにとってより豊かで有意義な土曜日を実現する。 実 施 校：12校 実施回数：42回 延参加者数：574人	○	市内12校にて、子どもたちの自主性を高め、幅広い成長を促すために、中部大学の学生ボランティア及びALT（外国語指導助手）の協力のもと、親子参加による子どもたちにとってより豊かで有意義な経験を提供している。	学校教育課
						わいわいカーニバル	さまざまな人との関わりや体験を通して、子どもが持つ自由で伸びやかな創造力を引き出す子どもの祭典を開催する。	開 催 日：5月12日（日） 開催場所：落合公園 参加団体数：55団体、事業数：54事業 来場者数：25,000人	○	来場者数が前年度を大幅に上回ったが、天候による影響が大きいものと考え、自己評価は「◎」ではなく「○」としている。	子育て推進課
		10	成人期における 学習機会の充 実	家庭生活に関する知識や技術を習得する機会の充実を図ります。	●家庭教育の重要性を学ぶ学習機会の充実	ふれあい教育セミナー	家庭教育の大切さ等を学習する「ふれあい教育セミナー」に対して補助することで、家庭教育力と地域教育力の向上を図る。	家庭教育の大切さ等を学習する講座を充実させ、家庭教育力と地域教育力の向上を図った。 実施団体数：47団体（認定こども園1園、私立保育園3園、幼稚園8園、小学校30校、中学校5校） 開催回数：213回（うち託児付き35回） 事業内容：子どもに身につけてほしい最強の武器～今日から使える子育てスキル～、お片付け基本講座、親子で学ぶ防災、中学校英語授業体験、子どものモチベーションの上げ方講座 ほか 延参加者数 11,593人（託児人数延べ152人）	○		いきがい推進課
						家庭教育に関する講座	家庭教育に関する講座	(1)公民館 実 施 数：2講座（2回） 実施講座：親子で学ぶ片付け教室 延受講者数：23人	○		公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター
						認知症サポーター養成講座	認知症に関する正しい知識の普及や認知症高齢者等を介護する家族等の支援を図るため、認知症サポーター養成講座を開催する。	実施回数：27回 養成人数：1,556人	○	中学生、地域住民、企業等、多様な世代に対し養成講座を実施し、認知症の正しい知識を広めた。	地域共生推進課
						消費生活講座	悪質商法による被害を未然に防止するための知識や被害にあった場合の対処法等を学べる講座を開催する。	消費生活に関する諸問題について正しい知識を身に付け、適切な問題解決を図れるように講座を開催した。 実 施 数：10講座 実施講座：派遣講座（5講座）、市等主催講座（5講座） 延受講者数：203人	○	老人会等の団体を中心に、消費生活相談員など専門家を派遣しており、消費者被害の軽減や防止に役立っている。	市民生活課

基本目標Ⅱ 多様なニーズに応じた学び機会の充実

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和6年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
1	ライフ ステージに 応じた 学習機 会の充 実	11	高齢期における 学習機会の充 実	高齢者が充実した 日々を過ごせるよ う、多様な講座を開 催するとともに、社会 参加できる機会を提 供します。	●健康づくり、趣味 等に関する学習の 場の提供	かすがいきいきアカ デミー	誰もがいきがいをもち、充 実した生活を送ることがで きるように、幅広い世代に学 習の場を提供する。	実 施 数：4コース各13回、合同講座2回 内 容：生活科学、歴史、文学、芸術文化の4コースを実施 延受講者数：5,922人	○	かすがい熟年大学を改編及び名称の変 更をし、かすがいきいきアカデミーとして開 催。対象者は、18歳以上に変更した。ま た、コースの改編（5コースから4コースに 変更）、出席できない方向けのオンライン 配信の実施、市の各課で実施している安 全アカデミーや市民環境アカデミーの受講 者も参加できる「いきがい合同講座」を開 催した。	いきがい推進課
						シニア世代を対象と した講座	シニア世代を対象に健康や 趣味関する講座を開催す る。	(1)公民館 実 施 数：3講座（15回） 実施講座：はじめてのバランスボール、シニアのための手ぶらで体験！ウクレ レ講座 ほか 延受講者数：137人 (2)ふれあいセンター 実 施 数：7講座（34回） 実施講座：今日からはじめる若返り運動教室、シニア世代のためのゆったり フラダンス入門 ほか 延受講者数：360人	◎		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
					●地域の支え手とし てのスキルを身に つける機会の提供	Uターン育児塾	祖父母世代に新しい育児 事情の学習機会を与え、そ の立場から育児参加をして もらい、出産・育児支援の 充実を図る。	祖父母は主体的に育児を担うのではなく、新米パパママのサポーターとして活躍 することを目的に実施した。 対 象 者：もうすぐ孫が生まれる人、または生後2か月までの孫がいる人 内 容：保健師の講話・育児体験 実施回数：4回 参加者数：52人	○	中日新聞に紹介された。	こども家庭支援課

基本目標Ⅱ 学びを多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

44

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和 6 年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
1	ライフ ステージに 応じた 学習機 会の充 実	11	高齢期における 学習機会の充 実	高齢者が充実した 日々を過ごせるよ う、多様な講座を開 催するとともに、社会 参加できる機会を提 供します。	●オンラインスキル向 上のための学 習 機 会の提供	シニア向けICT講座	デジタル格差の解消に向 け、シニア向けにスマートフ ォン講座等を実施する。	(1)公民館 実 施 数：5 講座（16回） 実施講座：シニアのための持ち込みパソコン教室、スマートフォン講座（スマ ホ決済編） ほか 延受講者数：166人 (2)ふれあいセンター 実 施 数：4 講座（16回） 実施講座：シニアのためのスマホ活用講座、持ち込みパソコン講座 ほか 延受講者数：166人 (3)青年の家 実 施 数：1 講座（2 回） 実施講座：シニアのための初めての生成AI講座 延受講者数：20人	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
				● 消費者トラブル について学ぶ機会の 提供	消費生活講座	悪質商法による被害を未然に防止するための知識や被害にあった場合の対処法 等を学べる講座を開催する。	消費生活に関する諸問題について正しい知識を身に付け、適切な問題解決を 図れるように講座を開催した。 実 施 数：10講座 実施講座：派遣講座（5講座）、市等主催講座（5講座） 延受講者数：203人	○	老人会等の団体を中心に、消費生活相 談員など専門家を派遣しており、消費者 被害の軽減や防止に役立っている。	市民生活課	
1	ライフス テージに 応 じ た 学 習 機 会 の 充 実	12	リカレント教育の 推進	マルチステージの人 生に対応することが できるよう、自己実 現や職業能力の向 上 等 に 必 要 な 知 識、技能、教養を身 につける学び直しの 機会を提供します。	●資格取得を目指 した講座の実施や 情報の発信	資格取得を目指し た講座の実施	自己実現や職業能力の向 上 等 に 必 要 な 知 識、技 能、教養を身につける学び 直しの機会を提供する。	実 施 数：1 講座（12回） 実施講座：簿記 3 級をめざして 延受講者数：300人	○	資格取得を目指す受講者のニーズに応え ることができた。	多様性社会推進課
					資格取得を目指し た講座等の情報発 信	自己実現や職業能力の向 上 等 に 必 要 な 知 識、技 能、教養を身につける学び 直しの機会についての情報 を発信する。	リカレント教育に関するホームページを作成し、新たな知識やスキルを身に付けら れるよう、近隣大学、放送大学の履修情報やオンラインで学べる情報サイトの 紹介を行った。	○		いきがい推進課	

基本目標Ⅱ 多様なニーズに応じた学び機会の充実

基本的 施策		取組み		主な内容	事業名	事業概要	令和6年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
生涯スポーツの 推進	13	コミュニティスポーツの推進	あらゆる世代の人々の交流を促進し、地域の活性化や人々の連帯感及び協働意識の向上を図るため、コミュニティスポーツを推進します。	●スポーツ推進委員の育成	スポーツ推進委員	地域のスポーツ大会、スポーツ教室等の実施に関する連絡調整及び指導・助言や健康・体力づくりの実技指導を行うスポーツ推進委員の充実を図る。	(1)春日井市スポーツ推進委員実技研修会の開催（2回） (2)その他（研修会等への参加） 愛知県スポーツ推進委員研修会 4市スポーツ推進委員合同研修会 (3)スポーツ推進委員の派遣 派遣件数：20件 派遣人数：84人	○	昨年度に引き続きスポーレ春日井をメイン会場として、「かすがいスポーツフェスティバル」を開催した。	文化スポーツ振興課
				●多様な世代が参加できる運動機会の提供	学校区体育振興会交流大会	健康・体力づくり運動に関する啓蒙と事業実施を行う学校区体育振興会を育成し、地域スポーツの振興を図る。	(1)地域住民のスポーツ・レクリエーションの普及振興を図るため、春日井市スポーツ協会を通じて各学校区体育振興会に補助金を交付した。 (2)学校区体育振興会交流大会 期 日：11月17日（日） 会 場：総合体育館第1競技場、総合体育館運動広場 種 目：ソフトバレーボール、グラウンド・ゴルフ 参加人数：ソフトバレーボール 168人（34チーム） グラウンド・ゴルフ 167人（55チーム）	○	多様な世代が参加できる運動機会を提供した。	文化スポーツ振興課
					ラジオ体操会	子どもから高齢者まで、あらゆる世代の交流や健康づくりを推進するため、毎年8月の第1日曜日を「ラジオ体操の日」とし、「みんなでラジオ体操会」を実施することで、ラジオ体操の普及を図る。	(1)みんなでラジオ体操会 期 日：8月4日（日） 会 場：落合公園 参加人数：650人 (2)ラジオ体操！チャレンジ宣言 期 日：7月20日（土）～9月1日（日） 団 体 数：79団体 延参加人数：6,380人	○	あらゆる世代の交流や健康づくりに貢献した。	文化スポーツ振興課

基本目標Ⅱ 学びを多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

46

基本的 施策		取組み		主な内容	事業名	事業概要	令和6年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
生涯スポーツの推進	14	スポーツに関する学習機会の充実	市民が気軽にスポーツに取り組むきっかけとなるよう、日常的にスポーツやレクリエーションスポーツに親しめる機会の充実を図ります。	●スポーツ教室の実施	スポーツに関する講座・教室	健康づくりやいきがいづくりを推進するため、気軽に体を動かし、スポーツに親しめる講座を実施する。	(1)公民館 実施数：7講座(36回) 実施講座：はじめてのバドミントン～基本を踏まえて楽しくラリー～、みんなで学ぼう！バラスポーツ「ボッチャ」体験 ほか 延受講者数：517人 (2)ふれあいセンター 実施数：17講座(74回) 実施講座：骨盤エクササイズ、らくちん筋力アップ体操 ほか 延受講者数：1,034人	△		公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター
				●スポーツイベントの実施	スポーツイベント	マラソン大会、スポーツフェスティバルなどを実施し、多くの市民が生涯を通じてスポーツに親しむことができるよう、各世代のニーズに合わせたスポーツへの参加機会の充実を図る。	(1)新春春日井マラソン大会 期日：1月12日(日) 参加人数：5,180人 (2)かすがい！スポーツフェスティバル 期日：10月14日(月・祝) 参加人数：6,565人 (3)2024！レクスボ&ウオーク祭 期日：6月9日(日) 参加人数 603人 (4)市民体育大会 期日：4月1日(月)～3月31日(月) 参加人数：7,264人	○	多くの市民にスポーツする機会を提供することができた。	文化スポーツ振興課
				●春日井市スポーツふれあい財団との連携強化	春日井市スポーツ・ふれあい財団との連携	生涯スポーツ教室や出張スポーツ講座を始め、さまざまなスポーツ教室(講座)やスポーツイベントを行う、春日井市スポーツ・ふれあい財団と連携し、スポーツに親しむ機会の充実を図る。	(1)スポーツ教室(講座)の開催 実施内容：生涯スポーツ教室事業、運動指導事業、地域ふれあい運動教室、出張スポーツ講座及びトレーニング教室 延回数：3,770回 延参加人数：85,435人 (2)スポーツイベントの実施 実施内容：親子で楽しむ！スポーツ教室、フリーグ春日井大会、ライフセービング体験&いのちの教室、萩原智子杯水泳競技大会in春日井兼サンフロッグ春日井水泳競技大会、飛び込みをマスターしよう！、親子で野球教室、スポーレ春日井記録会、ラグビーフェスティバルDAY2 ほか 延参加人数：12,936人	○	前年度に引き続き、満足度の高いスポーツ教室やスポーツイベントを実施することができた。	文化スポーツ振興課

基本目標Ⅱ 多様なニーズに応じた学び機会の充実

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名		事業概要		令和6年度の実績		自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
3	文化芸 術の振 興	15	文化芸術の鑑賞機会や学習機会の提供	質が高く幅広いジャンルの公演を鑑賞したり、文化芸術を体験したりできる機会を提供し、誰もが気軽に文化芸術に親しむことができる環境の充実を図ります。	●地域の身近な場所での鑑賞・交流機会の提供	かすがいどこでもアート・ドア	身近な場所で文化芸術が鑑賞でき、交流できる機会を提供するため、各ジャンルのアーティストを市内の保育園や公民館等に派遣する。また、小中学校の授業型アウトリーチ「スクール・アート・ドア」を実施し、子どもの頃から芸術に親しむ機会を提供する。	派遣アーティスト数：25人 実施回数：58回 延参加者数：6,878人	◎	派遣先、参加者数について安定して伸ばすことができた。特にスクール・アート・ドア（授業型アウトリーチプログラム）においては新規実施校を増やすことができた。	文化スポーツ振興課（かすがい市民文化財団）			
					●様々な文化を体験できる機会の充実	かすがい文化フェスティバル	次代を担う子どもたちが茶道、華道、日本舞踊等の伝統文化を始めとしたさまざまな文化に親しみ、身近に体験できる講座を開催する。	伝統文化から現代アートまで、子どもたちが多様な芸術文化に触れられる総合体験型イベント「かすがい文化フェスティバル2024」を実施した。 (1)夏休みワークショップ 実施数：13講座 延参加者数：377人 (2)夕涼みシネマ 延参加者数：188人	○	伝統文化を中心とした、幅広いジャンルの体験講座を提供し、夏・秋の恒例行事として子育て世代に親しんでいたかった。	文化スポーツ振興課（かすがい市民文化財団）			
					●芸術家によるアウトリーチ活動	わへく書つづ	地域の身近な場所で文化芸術に親しめるよう、書家を地域の集会所や公民館に派遣する。	書に触れる機会を提供するとともに、それぞれの地域の身近な場所において書に親しんでいただくため、市内外で活躍する書家を派遣する「わへく書つづ」を実施した。 実施プログラム：5講座 実施回数：10回	○	美術協会の協力を得て事業を実施し、親子に体験機会を提供することができた。	文化スポーツ振興課			
					●かすがい市民文化財団との連携	かすがい市民文化財団との連携	かすがい市民文化財団の運営を補助し、多くの市民が文化芸術にふれあう機会を提供する。	かすがい市民文化財団の運営を補助し、多くの市民が文化芸術にふれあう機会を提供した。	◎		文化スポーツ振興課			
		16	市民による文化芸術活動の推進	市民の自主的・主体的な活動がさらに活発になるよう、活動の成果を披露することができる機会の充実等に取り組めます。	●文化芸術イベントの実施	文化芸術イベント	かすがい市民文化財団と連携し、文化芸術の鑑賞機会の充実を図る。	(1)美術系事業 小松宏誠展「光と影のモビール 空と歌」、金子みすゞ展「100年の時を 越えて 展覧会 金子みすゞの詩」、新進作家支援事業 安藤シオン「カガヤク物語」 (2)舞台系事業 劇団四季ファミリーミュージカル「エルコスの祈り」、東京楽所 雅楽公演、松竹大歌舞伎、キーウ・クラシック・バレエ「くるみ割り人形－全幕－」 ほか	◎	小松宏誠展で、過去最高記録の1万5千人越えを記録、また春日井市出身の画家・安藤シオンの展覧会も8千人越えと、非常に多くの鑑賞者を呼び込んだことが目標を大きく上回る成果を上げた。	文化スポーツ振興課（かすがい市民文化財団）			

基本目標Ⅱ 学びを多様なニーズに応じた学び機会の充実

48

基本的 施策		取組み	主な内容	事業名	事業概要	令和6年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
3	文化芸術の振興	16	市民による文化芸術活動の推進	市民美術展覧会 ほか	市民の作品発表と鑑賞の機会を提供するため、日本画、洋画、書、彫塑工芸、写真の部門での公募展を開催する。	市民の美術作品の発表と鑑賞の場を設けることにより、市民の美術文化の向上を図った。 審 査：8月4日（日） 展 示：8月17日（土）～25日（日） 募集部門：日本画（水墨画を含む）、洋画（油彩・水彩・版画等）、書（篆刻・刻字を含む）、彫塑工芸、写真 出品数：計614点 鑑賞者：9,625人 ※高校生奨励賞を新設した。（高校生の応募103点（前年より9点増））	○	高校生奨励賞創設の効果として、高校生からの出品が、第72回展（38名）から第73回展（47名）へと出品者が約23.6%増加。そのうち37名が新規出品者となり、洋画・彫塑工芸・写真部門の平均年齢が顕著に若年化した。高校生の美術教育への波及効果も期待される。	文化スポーツ振興課（かすがい市民文化財団）
		17	特色ある文化の推進	道風展	●「書のまち」、「自分史」の普及、振興	春日井市で生まれたと伝えられ、三跡の筆頭として日本書道史上に大きな足跡を残した小野道風の偉業をたたえる、全国公募の書の展覧会を開催する。	○	無料配布の「作品集」を道風展のPRツールとして広く配布することで、来場者の90%近い方に満足していただくことができた。	文化スポーツ振興課（かすがい市民文化財団）
					●「書のまち」、「自分史」の普及、振興	全国的にも数少ない書専門の美術館である道風記念館において、収蔵品や他施設から借用したさまざまな書作品・書関係資料を展示する。	○	特別展では、三重県指定文化財の「岡寺版集帖」を取り上げ、拓本により中国の名跡を紹介した。 江戸時代日本でつくられた集帖に焦点をあて、再評価する機会となった。 館蔵品展「書の魅力」は、書の鑑賞方法を伝えることをテーマとし、内容は変えつつ同タイトルで継続開催している展覧会である。わかりやすいタイトルということもあり、注目される展覧会となった。	道風記念館
					●「書のまち」、「自分史」の普及、振興	全国から出版物の寄贈を受け入れるとともに、作品公募事業を実施し、優れた作品を冊子にまとめるなど自分史作品を収集する。	◎	市内の小中学校に作品応募を呼びかけたところ約70作品の応募があった。全体の応募261作品から審査を経て選ばれた15作品中、市内小学生の2作を本に掲載することになった。自分史は年を重ねた方が書くものと思われがちだが、子どもたちが自分自身を表現する場にもなり得る。誰もが簡単に発信できる時代に、書くことを通して自身をみつめる機会を提供するきっかけとなった。	文化スポーツ振興課（かすがい市民文化財団）

基本目標Ⅱ 多様なニーズに応じた学び機会の充実

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和6年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
3	文 化 芸 術 の 振 興	17	特色ある文化の 推進	春日井市独自の文化の普及、振興に向けた取組みを推進することで、市民の文化に対する関心を深めます。	●「書のまち」、「自分史」の普及、振興	自分史関連事業	自分史活動により、個人を敬い、心のつながりを認識することを目指す。	ネット上での発信及び双方向コミュニケーションを目的として、ポッドキャスト番組を開始。公開収録も行った。また昨年度に引き続き、自分自身の悩み等を複数人でシェアすることで生きづらさや悩みを解きほぐす機会を設けた。	○	自分史相談という閉じられた窓口ではなく、複数人での対話形式の講座「モヤモヤを話す、聞く」では、安全・安心な場所を担保した上で、それぞれが自己開示できるコミュニティの場を作ることができた。	文化スポーツ振興課（かすがい市民文化財団）
								(1)ポッドキャスト番組「そしておしゃべりは続く」出演：尹雄大（もの書き、インタビュー）ほか フォロー数：552人 再生数：15,214回 (2)ポッドキャスト番組「そしておしゃべりは続く」公開収録イベント 出演：尹雄大（もの書き、インタビュー）ほか 参加者数：26人 (3)「モヤモヤを話す、聞く」講師：雄大（もの書き、インタビュー）ほか 3日間開催、計51人参加			
		18	郷土文化の継承、文化財保護意識の啓発	郷土の文化財や伝統文化を未来へ受け継ぐことができるよう、保護、保存及び活用を図るとともに、春日井の歴史や文化財への市民の理解、関心を深めます。	●文化財や伝統芸能等の保存、継承、活用	郷土芸能出前講座	地域の郷土芸能保存会を小学校に招き、模範演技の披露や体験・練習・発表を通して郷土芸能の保存・伝承について考える機会を提供する。	小学生を対象に郷土芸能保存団体が地域の郷土芸能を披露し、体験を通じて地域に伝わる郷土芸能の奥深さを理解し、郷土を愛する気持ちを高めるため、郷土芸能出前講座を実施した。 ・開催校：東高森台小学校 開催日：11月15日（金） 参加児童数：4年生 21人 保存団体：細野検藤流棒の手保存会始め2団体 ・開催校：出川小学校 開催日：11月22日（金） 参加児童数：4年生 95人 保存団体：小木田の棒の手保存会始め5団体 ・開催校：神領小学校 開催日：12月5日（木） 参加児童数：4年生 88人 保存団体：大留下棒の手保存会始め2団体	○	小学生が実際に体験することにより、地域の郷土芸能に興味や関心を持ってもらうことができた。	文化財課
					●文化財や伝統芸能等の保存・継承・活用	郷土芸能等のデジタルアーカイブ化	市の文化財について認知度を高めるため、VR（バーチャル・リアリティ）による見学ツアーやPR動画や360°動画の作成等、デジタルデータを活用した文化財情報を積極的に発信する。	民俗展示室や内々神社、下原古窯など市内の遺跡等14件について、VR（バーチャル・リアリティ）見学ツアーを市ホームページで公開した。			
					●春日井の歴史、文化財に関するイベント、講座等の実施	民俗考古企画展示	市の歴史や文化財の周知啓発を図る考古資料や民俗資料を活用し、企画展を実施する。	(1)考古関係「掘った！分かった！？春日井の中世史」ほか 2回 観覧者数：1,600人 (2)民俗関係「昭和の娯楽」ほか 2回 観覧者数：2,335人			

基本的 施策		取組み		主な内容	事業名	事業概要	令和 6 年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
3	文化芸術の振興	18	郷土文化の継承、文化財保護意識の啓発	郷土の文化財や伝統文化を未来へ受け継ぐことができるよう、保護、保存及び活用を図るとともに、春日井の歴史や文化財への市民の理解、関心を深めます。	●春日井の歴史、文化財に関するイベント、講座等の実施	内津文化財祭、ハニワまつり、古代史講座	(1)内津文化財祭 開催日：5月11日（土） 会 場：内々神社 内 容：棒の手披露、和太鼓演奏、指定文化財「御舞台」と三十六歌仙額の公開、社殿・庭園・すみれ塚ガイド、茶会 参加者数：500人 (2)ハニワまつり 開催日：10月26日（土） 会 場：二子山公園 内 容：ハニワの野焼き、体験工房、舞台芸能、製鉄実演、クイズラリーなど 参加者：5,500人 (3)講座 (ア) 親子体験教室 6 回 実施講座内容：「こいのぼりのモビールをつくろう」ほか 延受講者数：136人 (イ) 特別講座 3 回 実施講座内容：「発掘調査からみた春日井の中世史」ほか 延受講者数：183人 (ウ) 古代史講座 3 回 実施講座内容：「春日井市内の城郭跡について」ほか 延受講者数：195人	○	市内の文化財について周知できた。また、市の歴史や文化の特色を知ってもらうことができた。 前年度の参加者アンケートを基にした親子体験教室等を実施した。	文化財課
					●春日井の歴史、文化財に関するイベント、講座等の実施	郷土誌かすがいの発行	春日井の歴史や文化財への市民の理解、関心を深めるため、郷土誌かすがいを発行する。 発行日：令和 6 年11月 1 日 発行部数：2,500部 内容 「春日井の蝶の変遷（一）」尾崎尚志 「幕末、春日井から旅に出掛ける人たち」近藤雅英 「田楽岩の確認調査」春日井市教育委員会文化財課 「知られざるコンクリート像仏師・福崎日精」亀田浩史	○	春日井の歴史や文化財への市民の理解、関心を深めることができた。	文化財課
4	自主的な学習活動への支援	19	図書館、図書室の充実	市民の多様な学習ニーズに対応するため、図書資料をはじめ、各種資料の整備を推進するとともに、利用者ニーズに対応したサービスの充実を図ります。	●図書資料、視聴覚資料の充実	図書資料、視聴覚資料の充実	利用者のニーズに応じた図書資料の充実に努めるとともに、地域性や利用者ニーズ等を配慮した排架に努め、利用しやすい環境を整える。 蔵書数 春日井市図書館 587,558冊 高蔵寺まなびと交流センター図書館 79,990冊 味美ふれあいセンター始め 9 図書室 100,007冊 合 計 767,555冊 (8,635冊減)	○	春日井市及びその周辺地域及び書道に関連する資料を収集した。	図書館
					●中高生を対象としたティーンズサービスの充実	ティーンズサービスの充実	中学生・高校生（10代）の利用促進を図るため、T C（ティーンズコーナー）通信を発行するとともに、中学生・高校生の意見を取り入れながらサービスの充実を図る。 (1)T C（ティーンズコーナー）通信発行 年 4 回 (2)T C 蔵書の拡充 令和 5 年度末6,283冊 → 令和 6 年度末6,927冊 (3)10代の未来さがし講座 科学大好きなみなさんへ～光る生きもの博士が誕生するまで！～ 日 時：12月 8 日（日） 場 所：文化フォーラム春日井 受講者数：児童・生徒21名	○	全般的に、前年度実績と同程度の成果があった。	図書館

基本目標Ⅱ 多様なニーズに応じた学び機会の充実

基本的 施策		取組み		主な内容	事業名	事業概要	令和6年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
4	自主的 な学 習 活 動 へ の 支 援	20	生涯学習活動 団体への支援	公民館等で活動する同好会やサークル活動団体をはじめ、文化やスポーツ等の社会教育関係団体への支援を行い、地域の活力向上や市民の多様な学習活動の活性化を図ります。	● 団体活動のPR支援	生涯学習活動団体のPR支援	公民館等で活動する同好会やサークル活動団体のPRを行う。 ・各施設で活動する生涯学習活動団体の写真付きPRポスターを館内で掲示した。 ・文化系団体が制作した作品を館内に展示し、活動成果を紹介した。 ・生涯学習団体の協力を得て開催する講座を企画し、活動内容の魅力を団体のメンバー自らがアピールする場を提供した。 ・団体紹介コーナーを設け、認定団体一覧や、利用団体の会員募集案内等の情報を発信した。	○		公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター
					● 施設の優先予約や使用料減免等による生涯学習活動団体の活動への支援	生涯学習活動団体への支援	生涯学習活動団体が活動しやすくなるよう支援する。 (1)3か月前優先予約 生涯学習活動団体が活動しやすくなるよう、一般の予約より優先して、3月前から予約を受け付けた。 (2)施設使用料の2分の1を減免する。	○		公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター
					● 施設の優先予約や使用料減免等による生涯学習活動団体の活動への支援	文化スポーツイベント補助金	文化の振興、スポーツの振興及び競技力の向上を図るため、個人及び文化・スポーツ活動団体が、全国的規模で開催する公演の実施や全国的規模のスポーツ大会に出場した際等に、補助金を交付する。 (1)スポーツ関係 国際大会出場補助：個人 21件、団体 0件 全国大会出場補助：個人 137件、団体 15件 全国大会開催補助 1件（第34回全国高等学校剣道選抜大会）	○	昨年度に比べ、国際大会への出場件数が増加した。	文化スポーツ振興課
					● 施設の優先予約や使用料減免等による生涯学習活動団体の活動への支援	春日井市スポーツ協会運営費補助金	スポーツ協会の運営や、学校区体育振興会を含む加盟団体の育成、各加盟団体が行うスポーツ教室等の助成を通して地域のスポーツ振興を図るため、スポーツ協会に補助金を交付する。 スポーツ協会の運営及び加盟40団体の育成、各競技団体が行うスポーツ教室等を助成により、スポーツの振興を図った。 (1)市民スポーツ大会総開会式 期 日：6月16日（日） 団 体 数：33団体 参加人数：277人 優秀表彰 個人5人 団体1団体 一般表彰 個人8人 (2)各競技団体が行う事業 スポーツ教室、選手派遣及び育成事業、団体主催事業	○	各加盟団体の活動によりスポーツの振興を図ることができた。	文化スポーツ振興課

基本目標Ⅲ 学んだ成果を生かしたまちづくり

52

基本的 施策		取組み		主な内容	事業名	事業概要	令和6年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
1	社会的 課題に 対応し た学習 機会の 充実	21	健康に関する学 習機会の充実	●各ライフステージ の健康課題に対応 した講座の実施	女性のためのヘルス アップ講座	各ライフステージにおける女 性を対象とした健康づくり 講座を実施する。	実施回数：2回 参加人数：41人 対象及び内容：壮年期世代 更年期の対処法、健康運動	○		健康増進課
					お気軽健康教室	高齢期における自立度の 低下を防ぎ、健康寿命の 延伸を図るため、ロコモティ ブシンドロームや認知症の 予防に効果的な軽運動を 行う教室を開催する。	(1)総合保健医療センター 実施回数：42回 延参加者数：996人 (2)保健センター 実施回数：90回 延参加者数：1,378人	○		健康増進課
				生涯健康でいきいき と暮らせるよう、健康 づくりへの意識高揚 を図るため、健康に 関する情報提供や 健康に関する知識 を身につける学習機 会の提供を推進しま す。	健康に関する講座 の実施	幅広い世代を対象に健康 に関する知識の習得や体 力づくりなど様々な切り口で 健康に関する講座を実施 する。	(1)公民館 実 施 数：24講座（122回） 実施講座：免疫力をアップしよう！体にやさしい簡単エクササイズ、 ペアで年末ヘッドマッサージ ほか 延受講者数：1,599人 (2)ふれあいセンター 実 施 数：17講座（88回） 実施講座：健康ヨガ、音楽療法で生き生きライフ ほか 延受講者数：1,262人	◎		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
					健康救急フェスティ バル	市民団体、医師会などの 関係機関、健康支援プロ グラム登録企業が「健康・ 救急」をテーマにした体験 型のブースや講演会などを 実施する。	9月第1日曜日の「健康の日」、9月9日の「救急の日」にあわせ、市民の 「健康づくり」の知識を広げるとともに、「救急活動」への理解を深めることを目的 に実施。 実施日程：9月1日（日）10時～14時30分 会 場：市役所、文化フォーラム春日井 ※ 台風の影響により中止。	—		健康増進課
					健康づくり出前講座	保健師、栄養士、歯科衛 生士又は健康支援プログラ ムの登録企業の講師が地 域で活動する団体やグル ープ等に向いて、健康づく りに関する各種講座を開催 する。	実 施 数：99回（うち企業講師28回） 実施講座：講座メニュー一覧登録講座その他 延受講者数：3,305人	○		健康増進課
					市民健康づくり講座	生活習慣を改善するきっか けづくりとなるよう、健康づ くりと予防方法に関する正し い知識を身につけることがで きる講座を実施する。	実 施 数：5講座（すべてオンライン） 講座内容：頑張らなくてOK！幸せな自分を実現する快適カラダづく り、だしソムリエに学ぶ！減塩しながらでもおいしく食べる コツ、うつ病予防の第1歩！ストレスへの理解と改善チャレ ンジ ほか 延受講者数：510人	○		健康増進課

基本目標Ⅲ 学んだ成果を生かしたまちづくり

基本的 施策		取組み		主な内容	事業名	事業概要	令和 6 年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
1	社会的課題に 対応した学習 機会の充実	22	環境に関する学 習機会の充実	市民一人ひとりが、 環境問題について 正しい認識を持ち、 環境に配慮した生 活を送れるよう、学 習機会の充実を図 り、環境学習を推 進します。 ●座学やフィールド ワーク、ワークショップ 等を通じた環境を学 ぶ機会の提供	市民環境アカデミー	地球温暖化、省エネ ギー、身近な自然環境やそ の保全活動等をテーマに、 座学やフィールドワーク、 ワークショップを通じて学 ぶ機会を提供する。	地球温暖化、リサイクル、身近な自然環境やその保全活動などをテーマに、座学や フィールドワーク、ワークショップを通して学ぶ。 第 1 回「人間活動と生物多様性の相互関係について」 第 2 回「再生可能エネルギー事業と地域活性化」 第 3 回「築水池・植物園フィールドワーク」 第 4 回「地球温暖化と私たちの未来～古気候学の視点から～」 第 5 回「パローグループの100年後のこどもたちに繋ぐ持続可能な社会づくりにつ いて」 第 6 回「心理学からみる環境問題」 受講者数：45人	○	例年定員を満たす受講者を確保できており、受講生は春日井まつりボランティアへの 参画（R 6 年度 6 名）や、愛知県地球 温暖化防止活動推進員としての活動（R 6 年度末現在春日井市11名のうち4名 が受講生）など、環境保全活動の実践に つながっている。	環境政策課
					かすがい環境フェス	環境対策の推進や環境活 動を行っている個人や団体 等を表彰し、環境問題につ いて学ぶ機会を提供する。	市民、事業者等が環境について考え、行動するきっかけづくりとして、多様な主 体との連携を図り、「学ぶ、触れる、交流・体験する」参加型の講演等を実施。 日 時：12月 7 日（土） 場 所：文化フォーラム春日井 参加者数：1,500人 内 容：表彰「かすがい環境賞」「環境絵画コンクール市長賞」 市民活動団体の発表 環境に関する各ブースのワークショップ等 基調講演「マリカ先生と楽しく学ぼう！環境問題」	○	2024年度までは「春日井市民環境フォー ラム」として開催。新たに環境に関する各 ブースのワークショップ等を開催する他、市 民活動団体の発表、かすがい環境賞表 彰、パナソニック㈱空調空調社と連携し、 環境絵画コンクール特別賞（春日井市 長賞）を継続設置。副賞としてパッカー車 ヘアッシング。 全国各地でSDGsや環境問題について の講演会を行うマリカ先生を招き、クイズ形 式による講演を開催。	環境政策課
					カーボンフリー環境 講座	地球温暖化対策に対し、 自ら考え、実践することが できる次世代の人材育成を 図るため、地球温暖化対 策等を学ぶ体験型講座を 実施する。	小学生とその保護者を対象に、空港資源を活用して航空会社取り組み、地 球温暖化対策を学ぶ体験型講座を実施。 日時：2月 8 日（土） 場所：県営名古屋空港ターミナルビル 3 階会議室・F D A 格納庫 参加者数：36人	○	㈱フジドリームエアラインズの協力のもと、空 港資源を活用した航空会社が取組む地 球温暖化対策について学ぶ体験型講座 を開催した。	環境政策課
					環境に関する講座	環境に関する講座を実施 する。	国内に生息・生育する生物（在来種、外来種）や外来種（主に特定外来 生物）について学ぶことを通じ、生物多様性の理解を深めた。 日時：8月 1 日（木） 場所：サンキッズゾーン春日井駅前 実 施 数：1 講座（1回） 実施講座：「外来種について」 延受講者数：35人	◎	小学生（1～4年生）を対象とした講 座なので、漢字の上にはふりがなを付けるなど 子供に分かりやすい資料になるよう工夫し た。	環境保全課
					環境に関する講座	環境に関する講座を実施 する。	(1)いきいきアカデミー 実 施 数：1 講座（1回） 実施講座：どうする？気候変動対策(生活科学コース) 延受講者数：121人	○		いきがい推進課
					環境に関する講座	環境に関する講座を実施 する。	(1)ふれあいセンター 実 施 数：2 講座（2回） 実施講座：緑のカーテン育成講座 延受講者数：10人	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター

基本目標Ⅲ 学んだ成果を生かしたまちづくり

54

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和6年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
1	社会的課題に 対 応 し た 学 習 機 会 の 充 実	22	環境に関する学 習機会の充実	市民一人ひとりが、 環境問題について 正しい認識を持ち、 環境に配慮した生 活を送れるよう、学 習機会の充実を図 り、環境学習を推進 します。	●座学やフィールド ワーク、ワークショップ 等を通じた環境を学 ぶ機会の提供	環境に関する講座	家庭から出る生ごみを堆肥 化する生ごみ減量講座 （ぼかし作り）や地域の団 体等に対するごみ減量等 の出前講座を開催する。	実 施 数：2講座（9回） 実施講座：生ごみ減量講座、出前講座（ごみの現状や分別方法） 延受講者数：185人	○	新たにスターバックスイース春日井店と連 携してプラスチック資源循環に関する出前 講座を実施	ごみ減量推進課
					ごみの減量と4 Rの 推進に関する講座	ごみの減量と4 Rの推進を 図るため、生ごみの堆肥化 やごみとして処分される物 品をリメイクして活用する講 座などを開催する。	生ごみの堆肥化講座や、ごみとして処分される物品をリメイクして活用する講座 を開催することにより、ごみの減量化と環境に対する正しい認識を持つ機会を設 けた。 実 施 数：49講座 58回 実施講座：ぼかし作り教室、リメイク教室、包丁の研ぎ方教室、親子 工作教室、自転車修理教室 ほか 延受講者数：698人	○	企業の協力を得て、新たな講座を実施し た（キーコーヒー（株））	クリーンセンター（エ コメッセ春日井）	
					●親子で環境を学 ぶ機会の充実	子ども環境アカデミー	子ども（小学4～6年生）とその保護者を対象とし、家族ぐるみで地球温暖 化、自然環境保全、循環 型社会等について総合的、 横断的に学習する機会を 提供する。	子ども（小学4～6年生）とその保護者を対象とし、家族ぐるみで環境について 学び、考えることで環境まちづくりの基盤となる人材の育成を図る。 実施内容：日本のカメと外国のカメ～カメを通じて外来種について知ろ う～親子おもしろ実験室～水質調査体験と液体ちっ素 を使った実験～、グリーンセンターバックヤードツアー ほか 受講者数：20組43名	○	定員を上回る応募があり、参加者からも 好意的な意見が多くみられるなど、啓発効 果が高いと考えられる。	環境政策課
		23	防災・防犯に関 する学習機会の 充実	犯罪や災害等に強い安全・安心のまち づくりを目指し、市民 の実践力を高めるた めの学習機会の充 実を図ります。また、 交通安全啓発のた めの学習機会を提 供します。	●防災、防犯に関 する講座の実施	安全アカデミー	地域の安全について自ら考 えて行動し、提言できる地 域のリーダーを育成する春日井安全アカデミーを開催 する。	市民として地域の安全を自分たちで考え、行動し安全で安心して暮らせるまち づくりを目指し、防災や防犯について学ぶ市民大学を開催した。 生活安全コース：7講座 防災コース：8講座 実施期間：9月7日（土）～12月7日（土） 参加者数：104人（82人卒業）	○	受講者の防災、防犯についての情報・知 識の向上が図られ、土曜日の開講を増や したことで若い世代の受講が増えた。特 に、市内中学校のボランティア部員の参加 があった。	市民安全課
						安全安心フェア	市民への自助力及び共助 力の向上を推進するとともに、防災、防犯及び交通 安全意識の高揚を図るこ とを目的に、安全安心フェア を実施する。	防災・防犯・交通安全の啓発事業を実施することにより、市民への自助力及び 共助力の向上を推進するとともに、防災・防犯・交通安全への意識の高揚を図 ることを目的とした安全安心フェアを実施した。 日 時：6月8日(土)午前10時～午後3時 会 場：文化フォーラム春日井交流アトリウム、市民広場及び市役所1階 市民ホール 参加人数：約3,000人	○	市民の防災・防犯・交通安全意識の高 揚を図ることができた。	市民安全課

基本目標Ⅲ 学んだ成果を生かしたまちづくり

基本的 施策	取組み	主な内容	事業名	事業概要	令和6年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
1	社会的 課題に 対応し た学 習 機 会 の 充 実	23 防災・防犯に 関する学習機 会の充 実	● 防災訓練、水防 訓練の実施	総合防災訓練	地震災害に対する参加機 関との相互協力体制を確 立するとともに、市民の防 災意識を高めるため、防災 訓練を実施する。 日 時：8月25日(日)午前7時～10時40分 会 場：松山小学校 参加人数：約1,300人	○	参加機関との相互協力体制の確立と、参 加住民の防災意識の高揚を図ることがで きた。	市民安全課
			● 防災訓練、水防 訓練の実施	水防訓練	河川の決壊等の水害を想 定し、水防技術の向上と 水防体制の充実、市民の 水防に対する意識を高める ため、水防訓練を実施す る。 実 施 日：6月2日(日) 訓練会場：篠原小学校(グラウンド) 内 容：水防工法訓練 参加団体：春日井市、春日井市消防団、春日井建設協会、 春日井警察署	○		河川排水課
			● 交通安全教室の 実施	交通安全教室	交通安全意識を向上させ 交通マナーを身に付けるた め、幼児から高齢者まで、 それぞれの発達段階やライ フスタイルに合わせた体験・ 実践型の交通安全教室を 実施する。 実施回数 小学校交通安全教室 37回 幼児交通安全教室 35回 高齢者交通安全教室 4回 地域等における交通安全教室 33回 合計 109回	○	交通安全の基本となるルール、マナーを学 ぶことで交通安全意識の 向上が図られた。	市民安全課
		24 情報化・国際化 社会に関する学 習機会の充 実	日々進化し続ける 情報化社会へ対応 することができよう、ICTに関する知 識や技術の習得の ための学習機会を 提供します。 ● パソコンやスマート フォン等の操作を学 ぶ講座の実施	I C T の活用に関 する講座	パソコンやスマートフォンなど の操作方法や活用方法を はじめとしたICTに関する講 座を実施する。 (1)公民館 実 施 数：10講座(21回) 実施講座：androidアプリ活用講座、スマートフォン講座(防災／ 詐欺防止編) ほか 延受講者数：352人 (2)ふれあいセンター 実 施 数：9講座(34回) 実施講座：シニアのためのスマホ活用講座、プログラミングを学んで 世界に1つのスマホゲームをつくっちゃおう ほか 延受講者数：395人 (3)青年の家 実 施 数：1講座(2回) 実施講座：シニアのための初めての生成AI講座 延受講者数：20人	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター

基本目標Ⅲ 学んだ成果を生かしたまちづくり

56

基本的 施策		取組み		主な内容	事業名	事業概要	令和6年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
1	社会的 課題に 対応し た学 習機 会の 充実	24	情報化・国際化 社会に対応した 学習機会の充 実	国際化への意識を 高め、豊かな国際 感覚を育むことが できるような学習機 会の充実を図ります。	●外国語の習得に 向けた学習機会の 充実	外国語講座の実施	多文化共生社会の実現に 寄与するため、外国語な どの講座を実施する。 (1)公民館 実 施 数：1 講座（6回） 実施講座：楽しい英会話講座（初級） 延受講者数：90人 (2)ふれあいセンター 実 施 数：4 講座（18回） 実施講座：ここを押さえておきたい！トラベル英会話（実践編）、 英会話を始めてみませんか ほか 延受講者数：266人	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
						外国の文化にふれる 講座	多文化共生社会の実現に 寄与するため、外国文化の 紹介や体験講座を実施す る。 (1)大学連携講座 実 施 数：2 講座（4回） 実施講座：中部大学連携講座ジュニアセミナー「ゲームをとおりてー 緒にアメリカを知ろう！」、中部大学連携講座「知られざ るカリブの真珠キューバ」 延受講者数：58人	○		いきがい推進課
					●多文化共生に向 けた学習機会の充 実	外国の文化にふれる 講座	多文化共生社会の実現に 寄与するため、外国文化の 紹介や体験講座を実施す る。 (1)青年の家 実 施 数：1 講座 4 回 実施講座：楽しく歌おうビートルズ！ 延受講者数：27人	△		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
						わくわく！ふれあい ワールド	異文化への理解を深めると ともに、外国人市民と日本 人市民との交流を図るた め、市内で活動する国際 交流団体により設立され た春日井市国際交流ネッ トワークに委託し、「わくわく！ ふれあいワールド」を実施 する。 実施回数：9回 実施内容：世界のことばで「ありがとう」を伝えよう、フィリピンを知ろう おやこであそぼう 英語の歌とおはなし in Summer など 延参加者数：3,537人	○	延参加者数は減少したが、実施回数を増 やしたことで、より異文化への理解を深める 機会を設けることができた。	多様性社会推進課

基本目標Ⅲ 学んだ成果を生かしたまちづくり

基本的 施策		取組み		主な内容	事業名	事業概要	令和6年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
1	社会的 課題に 対応し た学習 機会の 充実	25	男女共同参画 に関する学習機 会の充実	男女共同参画につ いての理解を深める ための学習機会を 提供します。また、 女性のエンパワーメ ント、男性の家庭生 活への参加促進に 向けた学習機会を 提供します。	男女共同参画セミ ナー	あらゆる世代の方が生涯を 通じて男女共同参画の視 点を持ち、能力を開発、発 揮し、社会のあらゆる分野 へ参画していくために必要 な能力を高めることができ るよう講座の開催など学習機 会を提供する。	(1)一般市民向け講座 実 施 数：5 講座 実施内容：手作りコスメ体験講座、マジックパパのふしぎあそび、更年 期を笑顔で過ごすための心と体のトリセツ、出前講座（ 春日井高等学校全日制、春日井工科高等学校） 延受講者数：1,125人 (2)職員・学校向け講座 実 施 数：2講座 実施内容：LGBTQの理解、ジェンダーに関するアンコンシャス・バイアス について 延受講者数：46人（うち1 講座はYouTubeでの限定公開で受講者 数不明）	○	一般向け講座の実施数は減少したもの の、前年度より多くの受講者に対し、開催 することがとができた。	多様性社会推進課
					男女共同参画市民 フォーラム	男女共同参画社会の実現 を目指した意識啓発を目的に、市民、社会活動団 体、企業、市がともに考える 機会として、市民フォー ラムを開催する。	「男女共同参画」について、多くの市民に知ってもらうため、男女共同参画市民 フォーラムを開催した。 開 催 日：11月24日（日） 参加人数：164人 内 容：講演会、パネル展示	○	前年度は市制80周年記念事業として、 規模を拡大して実施。	多様性社会推進課
				●女性のキャリアア ップや男性の家事、育 児、介護能力向上 のための講座の開催	各種講座の実施	女性のキャリア形成や管理 職に就くまでのイメージの構 築、本市で起業を希望す る女性起業家の経営安定 と質の向上を図るためのセミ ナー等を開催する。また、男 性が主体的に育児に参加 できるよう、セミナーを開催 する。	(1)女性向け講座 実施数：4 講座 実施内容：女性のためのキャリアアップ講座、女性のための起業応援 セミナー、起業応援セミナーフォローアップ会、テレワーク入 門セミナー 延受講者数：237人 (2)男性の育児力向上講座 男性が主体的に育児に参加できるよう、セミナーを開催した。 実施数：1 講座 実施内容：マジックパパのふしぎあそび 受講者数：43人	◎	男性の育児力向上講座について、家族参 加型の講座内容としたことにより、受講者 数が増加した。	多様性社会推進課
					各種講座の実施	男性が主体的に家事や育 児に参加できるよう男性向 けの講座を実施する。	(1)公民館 実 施 数：5 講座（5回） 実施講座：坂下サボテンキッチン、おやじの料理講座（ほか） 延受講者数：70人 (2)ふれあいセンター 実 施 数：1 講座（1回） 実施講座：ホテルプラザ勝川男の料理塾 受講者数：12人	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
					ワーク・ライフ・バラ ンスの推進	ワーク・ライフ・バランスを推 進するため、男女共同参 画情報紙「はるか」による啓 発のほか、事業者等に対す る出張講座を行う。	男女共同参画情報紙「はるか」で職場改善、多様な進路について啓発した。	○		多様性社会推進課

基本目標Ⅲ 学んだ成果を生かしたまちづくり

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名		事業概要		令和 6 年度の実績		自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
2	地 域 の 担い手と な る 人 材 の 発 掘 及 び 育 成	26	指導者となりうる 人材の育成	地域のリーダーとして活躍できる人材を養成するとともに、生涯学習のニーズに対応できる潜在的な資質や活動意欲のある人材の発掘を推進します。	● 人材を育成するための講座の実施	安全・安心まちづくり ポニター養成講座	地域の安全についてリーダーの役割を担うポニターを養成するため、安全アカデミーを卒業した人を対象に養成講座を実施する。	安全アカデミーを卒業した人を対象として養成講座を開講した。 開催期間：1月23日（木）・24日（金） 実施内容：普通救命講習、防犯講話、避難所運営ゲーム（HUG）、気象防災アドバイザーによる防災講話、避難所資材の取り扱いについて	○	安全アカデミー卒業者のうち、養成講座受講者7名が安全・安心まちづくりポニターとして新たに委嘱を受けた。	市民安全課			
						ヘルスマイト養成講座	地域において、食を通じた健康づくり活動を自主的に行う食生活改善推進員（ヘルスマイト）を養成する講座を実施する。	食生活改善推進員（ヘルスマイト）を養成する講座を実施した。 実施回数：8回 養成人数：13人	○		健康増進課			
						認知症サポーター養成講座	認知症に関する正しい知識の普及や認知症高齢者等を介護する家族等の支援を図るため、認知症サポーター養成講座を開催する。	実施回数：27回 養成人数：1,556人	○	中学生、地域住民、企業等、多様な世代に対し養成講座を実施し、認知症の正しい知識を広めた。	地域共生推進課			
						野外活動・自然体験指導者講座	野外での体験活動、自然に親しむ活動、遊びなど様々な分野で十分な指導ができるよう講習会を開催する。	野外活動・自然体験指導者講座（3回） 延受講者数11人	△		野外教育センター			
						●生涯学習情報サイトへの登録促進	まなびや選科（サイト）への講師登録	自分の知識や技能を他者に教えたい人と学びたい人を結びつけるため、講師を希望する人をサイトに登録することを促進する。	講師登録件数： 347人（うち新規登録43人） アクセス件数：72,210件（前年比 31,681件増）	◎		いきがい推進課		
		27	ボランティアの育成	ボランティア団体の活動を広く周知するとともに、ボランティアとして活躍する人材の育成を図ります。	● 市民活動団体に関する情報の発信	情報紙「ささえ愛」	市民活動の情報を提供するため、市内で活躍している市民活動団体の紹介や団体が実施するイベント情報を掲載した情報紙を発行する。	市内の市民活動の情報と市民活動支援センターのPRを目的とした情報紙「ささえ愛」を発行した。 発行部数：2,000部 発行回数：4回 情報紙配布先：市内公共施設、市内小中学校、市内高等学校、中部大学、春日井市社会福祉協議会、愛知県、他市市民活動支援センター、春日井郵便局、大垣共立銀行春日井支店 ほか	○	市内で活躍する市民活動団体の紹介や団体が実施するイベント情報を掲載した情報を周知できた。	市民活動支援センター			
	●ボランティアを養成するための講座や教室等の開催				健康マイスター養成講座	健康に関する正しい知識を持つ「健康マイスター」の養成講座を開催し、修了者のうち、希望者はボランティアとして、市などが実施する健康づくり事業に参加する。	実施期間：9月4日（水）～11月20日（水） 会 場：総合保健医療センター、保健センター 養成人数：21人 講座数：10講座 内 容：市の健康事情（講話）、健康マイスターボランティアの活動について（講話）、ウォーキングについて、準備運動と整理運動、安全管理・救命講習、認知症予防運動 ほか	○		健康増進課				

基本目標Ⅲ 学んだ成果を生かしたまちづくり

基本的 施策		取組み		主な内容	事業名	事業概要	令和 6 年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
2	地域の 担い手と なる人 材の発 掘及び 育成	27	ボランティアの育 成	ボランティア団体の 活動を広く周知する とともに、ボランティア として活躍する人材 の育成を図ります。 ●ボランティアを養成 するための講座や教 室等の開催	文化財ボランティア の養成	貴重な文化財や歴史及び 伝統文化を次世代に伝 え、文化財保護を啓発す るため、文化財ボランティアを 育成する。	(1)ボランティアの資質向上のため、ステップアップ研修を実施した。 実施回数：4回 実施研修内容：「西山製鉄遺跡製鉄炉の規模とその背景」ほか 延受講者数：69人 (2)ボランティア活動の内容や魅力を伝え、幅広い活動が実現できるよう会員 数の増加を図るため、養成講座を実施した。 実施回数：4講座2回 実施講座内容：春日井の歴史と文化財について、ボランティアの会の 活動と魅力、下街道を歩く、二子山古墳見学 延受講者数：7人 令和6年度末会員数:37人	○	養成講座の実施により新規会員が7人 加入し、活動に必要な会員数を維持す ることができた。	文化財課
					各種ボランティアの 養成	手話、点訳など市内ボラン ティアの養成を行う。	実 施 数：5 講座 実施講座：手話奉仕員養成講座（入門課程、基礎課程）、点訳奉仕 員養成講座、書いて伝える「聞こえ」のボランティア入門講座、 読み書き（代読・代筆）情報支援員養成講座 延受講者数：1,289人	○	「手話奉仕員養成講座」の入門及び基 礎課程を中心に、昨年度と比較してさらに 多くの参加があり、当該ボランティアへの意 欲及び関心の高まりが見られた。	社会福祉協議会等
					人材育成セミナー	ボランティアや市民活動で 活躍する人材を育成するた め、人材育成セミナーを実 施する。	(1)市民ニーズに合った講座を開催し、市民活動を担う人材を育成した。 ・青少年ボランティアスクール 延受講者数 180人 ・親子でボランティアチャレンジ 延受講者数 59人 (2)市民交流会議企画の市民活動団体のニーズに合った講座を開催した。 ・市民交流会議企画セミナー 未実施 ・かすがい市民活動情報サイトサポート 利用者22人	△	前年まで行っていたオトナのボランティアス クールを、親子で参加する形式に変更した ことにより、受講者の増加につながった一 方、市民交流会議企画セミナーは、受託 団体都合により実施できなかった。ただし、 令和7年度より新たに次世代まちづくり リーダーの育成事業を行う。	市民活動支援セン ター
					図書館読み聞かせ ボランティア養成講 座	読み聞かせボランティアの必 要な知識や心構え、読み 聞かせの技術等を習得す る養成講座を実施する。	図書館等において読み聞かせ事業を推進するため、読み聞かせボランティアの 希望者を募り、必要な知識や心構え、読み聞かせの技術等を習得する養成講 座を実施した。 実施回数：1回（3日間） 延受講者数8人	○	養成講座受講後、ボランティア団体へ4 名が加入するなど、全般的に、前年度実 績と同程度の成果があった。	図書館
					グループふじとうにお ける地域住民サポー ター事業	高蔵寺まなびと交流セン ターにおいて「地域住民サ ポーター」を募集し、地域住 民との積極的な協働による 施設運営を目指す。	地域住民サポーター登録数：148人 活動内容：花壇の手入れ ・水やり、草刈り ・花の植え替え（花壇コンクール（春日井市・日本花の会）に出場） 育児保育のサポート活動 ・児童館での育児保育事業のサポート活動	○	地域住民の繋がり場となり、住民協働に よる施設運営を行う事ができた。	ニュータウン創生課

基本目標Ⅲ 学んだ成果を生かしたまちづくり

60

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和6年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課	
3	学 習 成 果 を 生 か した ま ち づ くり の 推 進	28	学びの成果を 発表する機会を提 供	市民が学んだ成果 を発表することで新 たな学びにつなげ、 市民同士の交流が 図れるよう、日頃の 活動成果を発表す る機会を提供しま す。	●公民館まつりを活 用した発表機会の 確保	公民館まつり	公民館で活動する団体が 日頃の活動の成果を発表 及び展示する機会として開 催する。	(1)中央公民館 発表会：2月23日（日） 団体数：11団体 作品展：2月28日（金）～3月12日（水） 団体数：11団体 (2)知多公民館 発表会：3月9日（日） 団体数：7団体 作品展：2月27日（木）～3月4日（水） 団体数：9団体 (3)鷹来公民館 改修工事のため、休館中 (4)坂下公民館 発表会：3月9日（日） 団体数：10団体 作品展：3月12日（水）～16日（日） 団体数：14団体 (5)東部公民館 発表会：6月16日（日） 団体数：14団体 作品展：6月15日（土）・16日（日） 団体数：9団体	○		各公民館	
						芸能発表会	ふれあいセンターで活動する 団体が日頃の活動の成果 を発表及び展示する機会と して開催する。	(1)南部ふれあいセンター 発表会：10月6日（日） 団体数：7団体 作品展：10月1日（火）～11月29日（金） 団体数：11団体 (2)西部ふれあいセンター 発表会：10月6日（日） 団体数：14団体 作品展：10月6日（日）～10月12日（土） 団体数：4団体	○		ふれあいセンター	
						レディヤン祭	レディヤンかすがいを活動拠 点としている利用団体が団体 活動の発表を通して交流と 親睦を図るとともに、男女共 同参画と青少年活動等を広 く市民に啓発するため、レディ ヤン祭を開催する。	・活動団体による発表 8団体 ・活動団体による体験教室 12団体 ・団体PRコーナー出展団体 4団体 ・展示コーナー出展団体 2団体 ・運営協力団体 3団体 ・来場者数 360人	○	レディヤン祭実行委員会で内容を検討し ている。	多様性社会推進課	
						ハーモニーフェスティ バル	ハーモニー春日井の利用団 体が、楽器演奏などの練習 成果の発表を通じて団体 相互の親睦と地域住民等 との交流を図るため、フェス ティバルを開催する。	第23回ハーモニーフェスティバル 期 日：12月8日（日） 出演団体：13団体（個人出演含む）	○		青年の家	
						●作品展や発表会 などの開催	展示コーナーでの成 果発表	公民館等の展示コーナーを 貸し出し、個人やグループ の作品展示を行う。	(1)公民館 展示回数：55回 作 品 数：1,839点 (2)ふれあいセンター 展示回数：69回 作 品 数：2,762点	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
						●生涯学習情報サ イト登録講師の市 民講座等への登用	登録講師の市民講 座等への登用	公民館等で実施する講座 に生涯学習情報サイトに登 録されている講師などを積 極的に登用する。	講師新規採用数：6人 情報サイト登録者：10人	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター

基本目標Ⅲ 学んだ成果を生かしたまちづくり

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和 6 年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
3	学 習 成 果 を 生 か した ま ち づ くり の 推 進	29	市民自らが企画 した講座の開催	市民が学習で得た 知識や技術を広く生 かせるよう、「学ぶ」だ けでなく、「教える」 楽しみや生きがいを 感じることができる場 をつくり、市民が主 体となった生涯学習 の推進を図ります。	●市民が講師として 活躍する場の提供	講師発掘・登用事 業	さまざまな知識や技術を持 った市民を募集し、応募 者自らが企画した講座の 講師として活躍する場を提 供する。また、登用した講 師を市主催講座で積極的 に活用する。	応募件数：32件 採用件数：15件 実 施 数：12講座 実施講座：気軽に楽しむ着物ライフ！ 貴方も和装美人に～半幅帯の結 び方・基本からアレンジまで ほか 延受講者数：201人	○		いきがい推進課
						出前公民館講座	市民の身近な場所での学 習機会の充実を図るため、 講師発掘・登用事業で採 用した講師経験者等を講 師として、地域の集会施設 で講座を開催する。	実 施 数：37講座 申請団体：地区社会福祉協議会、子ども会 ほか 実施講座：笑って楽しく認知症予防！、漢方薬膳 ほか 延受講者数：930人	○		いきがい推進課
				●生涯学習活動団 体が講師を務める 講座の実施	市民のためのチャレ ンジ講座等	施設を利用している生涯 学習活動団体による講座 を実施します。	(1)公民館 実 施 数：2 講座（4回） 実施講座：いきいき学び舎、映える！ 楽しい！ 多色刷り版画を体験しよう 延受講者数：57人	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター	
		30	住民主体による 生活課題の解 決に向けた学習 の支援	住民自らが地域の 担い手として地域課 題の解決に取り組む ことができるよう、住 民主体の学習に対 する支援を行います。	●生涯学習出前講 座による支援	出前公民館講座	市民の身近な場所での学 習機会の充実を図るため、 講師発掘・登用事業で採 用した講師経験者等を講 師として、地域の集会施設 で講座を開催する。	実 施 数：37講座 申請団体：地区社会福祉協議会、子ども会 ほか 実施講座：笑って楽しく認知症予防！、漢方薬膳 ほか 延受講者数：930人	○		いきがい推進課
●地域課題解決に 向けた取組に対する 費用の助成	生涯学習まちづくり 出前講座				市民等により構成される団 体の依頼に応じ、市職員を 地域の集会施設等に派遣 し、行政情報や施策に関 する講座を実施する。	実 施 数：7講座 申請団体：地区社会福祉協議会 ほか 実施講座：地域の実情を踏まえた移動手段について、外来種について、 春日井市の農業について ほか 延受講者数：214人	○		いきがい推進課		

基本目標Ⅳ 学びを豊かにする環境づくり

62

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和6年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
1	身近な 生涯学 習施設 の充実	31	市民が利用しや すい、利用したく なる施設運営	市民にとって使いや すい施設の運営を 推進します。また、 施設に関する情報 発信を行い、施設の 利用促進を図りま す。	●利用者ニーズに 基づいた改善や管 理運営方法の改善	施設予約に関する 利便性の向上	市民にとって利用しやすい 施設運営を推進するため、 予約方法などの利便性の 向上を図る。	・令和6年10月から認定団体の認定要件の一つである人数の規定を10人から5人に変更する等、認定要件の緩和を行った。 ・生涯学習活動団体の活動しやすくなるよう、一般の予約より優先して、3月前から予約を受付した。	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
						Wi-Fi環境整備	施設利用者の利便性を高 めるため、施設の機能向上 を図る。	利用者の利便性を図るため、公民館、ふれあいセンター等の各1室にWi-Fi環境を整備した。（令和4～5年度実施） 設置施設：公民館（中央、知多、鷹来、坂下） ふれあいセンター（味美、高蔵寺、南部、西部） 青年の家、レディヤンかすがい	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
						社会教育事業連絡 調整会議	各公民館、ふれあいセ ンター等の機能の充実を目 指し、各施設における課題 等を共有し、課題解決のた めの協議を行う。	各公民館、各ふれあいセンターの機能を充実させ、施設間の情報共有を図るため、社会教育事業連絡調整会議を実施した。 実 施 数：12回	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
						●交流スペースの設 置	交流スペースの設置	幅広い年代の方が気軽に 立ち寄りやすい施設とんる よう、交流スペースを設置す る。	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
						●施設の魅力に関 する情報発信	施設利用に関する 情報発信	施設の利用を促進するた め、各施設の情報を発信 する。	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
		32	施設の有効活 用	市民や団体が学習 活動を行う場をより 多く提供するため、 既存施設の有効活 用の促進を図りま す。	●学校体育施設の 開放	学校体育施設の開放	市民の健康増進や体力の 向上を図るため、スポーツ 活動の場として市内の小中 学校体育館、中学校武道 場及び県立学校体育施 設を学校教育に支障のな い範囲で開放する。	市立小中学校及び県立学校の体育施設を、学校教育に支障のない範囲で地域住民等に開放することにより、市民の健康の保持増進・体力の向上を図る。 (1)県立学校体育施設開放 開 放 校：県立春日井高等学校 始め8校の校庭 利用者数：1,043人 (2)小中学校体育施設開放 開放校数：小中学校52校の体育館及び中学校15校の武道場 利用者数：288,328人	○	身近な施設でスポーツに親しむ機会を提供できた。	文化スポーツ振興 課
					●小学校余裕教室 の開放	松原学習センター	地域住民の生涯学習活動 やコミュニティ活動の推進を 図るため、松原小学校の 余裕教室を活用し、施設 の貸館や生涯学習指導員 による講座を実施する。	小学校の空き教室を整備し、松原中学校校区の住民を対象に講座を実施した。 登録団体：3団体 利用件数：29件 利用者数：899人 講 座 数：34講座（129回） 実施講座：いろいろな木彫で楽しめよう 脳トレ!何でもチャレンジ ほか 延受講者数：1,287人	○		いきがい推進課

基本目標Ⅳ 学びを豊かにする環境づくり

基本的 施策		取組み		主な内容	事業名	事業概要	令和6年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
1	身近な 生涯学 習施設 の充実	32	施設の有効活用	市民や団体が学習活動を行う場をより多く提供するため、既存施設の有効活用の促進を図ります。	●小学校の余裕教室の開放	小学校余裕教室の開放	市民の生涯学習活動の推進とコミュニティの育成に寄与するため、白山小学校、牛山小学校、石尾台小学校の余裕教室を地域の団体に開放する。	登録団体数 白山小学校：なし 牛山小学校：なし 石尾台小学校：2団体	○	いきがい推進課
					●予約が入っていない集会室等の有効活用	スタディールーム	公民館、ふれあいセンター等の空き室を有効活用し、学習室として開放することで中高生の自主学習を支援する。	実施施設：中央公民館、知多公民館、鷹来公民館、坂下公民館、味美ふれあいセンター、高蔵寺ふれあいセンター、南部ふれあいセンター、西部ふれあいセンター、東部市民センター、レディヤンかすがい 利用可能日：学校の長期休業期間及び土曜日、日曜日、祝日 午前9時から午後5時まで 利用できる人：市内在住、在学の小中学生、高校生 利用人数：6,573人	○	いきがい推進課
		33	施設の適切な維持管理	施設の計画的な点検はもとより、不具合に対する早期対応や修繕を行い、必要に応じた設備、機器の更新などによる利用環境の充実や機能の向上、安全で快適な施設環境の充実を図ります。	●市公共施設等マネジメント計画に基づく計画的な改修・修繕	計画的な修繕	施設の定期的な点検を行い、劣化状況等を把握するとともに、施設保全計画に基づき、計画的な修繕を実施する。	施設マネジメント計画に基づき、計画的に施設の改修、修繕を行う。 (1)鷹来公民館大規模改修工事実施設計、大規模改修工事 (2)知多公民館LED照明更新工事 (3)坂下公民館空調設備ドレン配管修繕等 (4)味美ふれあいセンター屋上防水改修工事 (5)南部ふれあいセンター飛散防止フィルム貼付工事、集会室畳表取替修繕、換気扇修繕等 (6)西部ふれあいセンターエレベーター更新工事、非常用発電機更新工事等 (7)青年の家エレベーター改修工事実施設計、非常用発電機更新工事実施設計 (8)少年自然の家トリム撤去等工事、トリム遊具設置工事、破損散策路復旧工事 ほか	○	公民館、ふれあいセンター、東部市民センター、青年の家、道風記念館、多様性社会推進課、野外教育センター（社会教育施設）
						計画的な修繕	施設の定期的な点検を行い、劣化状況等を把握するとともに、施設保全計画に基づき、計画的な修繕を実施する。	施設マネジメント計画に基づき、計画的に施設の改修、修繕を行う。 (1)総合体育館：第一競技場女子更衣室内トイレ換気扇修繕 (2)温水プール：直流電源装置更新その他修繕 (3)市民球場：塔時計制御部修繕 ほか	○	指定管理者と連携し、必要な施設修繕が計画的に実施できている。 文化スポーツ振興課（社会体育施設）

基本目標Ⅳ 学びを豊かにする環境づくり

64

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和 6 年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
2		34	地域の大学や 事業者との連携	大学や民間事業者、NPO等の専門的な知識を有する人材をはじめとする豊富な学習資源を活用し、大学や事業者等と地域が連携した生涯学習の場づくりを目指します。	●大学や民間事業者等との連携による講座の開催	大学連携講座の開催	市民の多様化する学習ニーズに応えるため、大学が持つ優れた人材と設備を活用し、高度な内容の講座を実施する。	近隣の大学と連携し講座を実施した。 連携大学：中部大学、名城大学 実 施 数：10講座 実施講座：歌謡曲に歌われる花々、バイオテクノロジーを用いた作物の品種改良、外国人宣教師達は日本語をどのように学んだか ほか 延受講者数：247人	○	60歳以上を対象としていた熟年大学を18歳以上に対象を拡大したため、類似した大学連携を縮小した。	いきがい推進課
						民間団体・事業者との連携	民間団体や企業が持つ知識やノウハウを活用するため、講座への講師として派遣を要請するなど連携を図る。	NPO法人と連携し、令和 3 年度から令和 5 年度まで文部科学省の委託事業として実施した「学校卒業後における障害者の学びの支援推進」を令和 6 年度は市が新規に「障がい者の生涯学習支援」として継続することにより、障がい者の方への生涯学習活動の場を提供した。 事業名：障がい者を主体としたサークル活動 12回、延参加者数122人	○		いきがい推進課
2	関係機 関との ネット ワークの 構築	34	地域の大学や 事業者との連携	大学や民間事業者、NPO等の専門的な知識を有する人材をはじめとする豊富な学習資源を活用し、大学や事業者等と地域が連携した生涯学習の場づくりを目指します。	●大学や民間事業者等との連携による講座の開催	民間団体・事業者との連携	民間団体や企業が持つ知識やノウハウを活用するため、講座への講師として派遣を要請するなど連携を図る。	(1)公民館 実施数：20講座（55回） 実施講座：免疫力をアップしよう！体にやさしい簡単エクササイズ、はじめてのバドミントン、間伐材利用まつり〜クラフトづくりと竹とんぼ飛ばし〜 ほか 連 携 先：春日井市スポーツふれあい財団、春日井市バドミントン連盟、みどりのまちづくりグループ ほか 延受講者数：1,490人 (2)ふれあいセンター 実施数：13講座（58回） 実施講座：らくちん筋力アップ体操、夏休みこども劇場、和で華やぎ和で祝う「お正月花 1 day講座」 ほか 連 携 先：あい・愛マインド、グループゆう、春日井市華道連盟 ほか 延受講者数：729人	△		公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター
						●講座実施に向けた連携・協力体制の構築	大学等との連携・協力体制の構築	市と連携協定を結んでいる企業、大学等との生涯学習分野における協力体制を強化する。	(1)いきいきアカデミー 実施数：2 講座（2 回） 実施講座：家族みんなで安全運転について学ぶ〜安全運転支援セミナー〜、「睡眠」と「健康」の知恵袋講座 連 携 先：あいおいニッセイ同和損害保険(株)、明治安田生命保険相互会社 延受講者数：238人	○	
		35	近隣自治体との 連携強化	市民へより多くの学習情報の提供や学習機会を拡充するため、近隣自治体との連携を図ります。	●近隣自治体の情報や人材の相互利用による生涯学習の推進（愛日社会教育担当者連絡会への参加）	愛日社会教育担当者連絡会	近隣市町との連携や情報共有を図るため、小牧市や瀬戸市を始め11市町で構成された愛日社会教育担当者連絡会に参加する。	愛日社会教育担当者連絡会に参加し、情報交換を行った。 5月24日（金）：名古屋市三の丸庁舎 8月27日（火）：研修会（小牧市） 1月28日（火）：研修会（尾張旭市）	○		いきがい推進課